

国立大学法人

岐阜大学概要

2009



岐阜大学

CONTENTS

岐阜大学の理念と目標	1
岐阜大学憲章	2
特色ある教育改革の取組	3
特色ある研究プロジェクト	5
沿 革	6
歴 代 学 長	7
● 組 織	
運 営 組 織	8
教育研究組織	9
役員等一覧	10
役員・職員数	11
学 部	12
大 学 院	13
図 書 館	14
附 属 病 院	15
学内共同教育研究施設等	16
全国共同利用施設	17
● 学 生	
学生数【学部 / 大学院】	18
学生数【研究生等】、児童・生徒数	19
学生数【外国人留学生】	20
平成 21 年度入学状況	21
卒業者数及び進路状況	22
修了者数及び進路状況	23
学生支援施設	24
● 地域連携・産官学連携	
連携協定・地域連携事業	25
産官学連携	26
● 財 務	
予 算	28
科学研究費補助金等	29
● 国 際 交 流	
学術交流協定締結・研究者交流	30
学 生 交 流	31
● キャンパス	
建物配置図	32
土地・建物	34
位 置 図	35
所 在 地	36
交 通 案 内	37



学び、究め、 貢献する岐阜大学



岐阜大学長 森 秀樹

岐阜の地は、飛山濃水と称される豊かな自然に恵まれ、東西文化が接触するという地理的特性を背景として、多様な文化と技術を創造し、伝承してきました。岐阜大学は、この地が培ってきた特性を継承して、「知の伝承と創造」を追究します。このために岐阜大学は、人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能にする場、それらの成果を世界に発信し、人材を社会に送り出す場となることによって、学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献します。

○ 学ぶ岐阜大学

岐阜大学は、教育に軸足を置いた教育・研究大学として、深い専門知識、広い視野と総合的な判断力を備えた人材の育成を目指します。このために、多様な生き生きとした教育を行うとともに、豊かな人間性と学識を養い、判断力、企画・構想力、行動力に富む人材の育成を目指します。このことにより地域社会と人類の持続的発展に貢献します。

○ 究める岐阜大学

岐阜大学は、独創的、先進的研究の拠点として知の創造と統合に努め、人類と社会の幸福と発展に貢献します。また、研究の成果は教育の場を通して社会に還元します。このため、科学技術、教育、地域課題などについて独創的、先進的な研究を行い、その成果を絶えず社会に発信し、問いかけていきます。このことを通して社会のリーダーとしての役割を担います。

○ 貢献する岐阜大学

岐阜大学は、独創的、先進的な研究とそれに裏打ちされた人材教育により、中部地方に拠点を置いた中規模総合大学として、地域社会・国際社会からの信頼と期待に応えていきます。国際化時代に積極的に対応するために、本学の教育と研究の特性を生かした国際交流と留学生教育など、大学の国際化を積極的に推進します。

【学 章】



デザイン 元岐阜大学教授 坂井範一

1. 岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。
篝火は学問を船は人類の幸福を意味するであろう。
1. 陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。
総ての存在と活動調和とバランスを意味するであろう。
1. 黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。
また感性の豊かさや品位を意味するであろう。
1. 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味するであろう。
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

【シンボルマーク】



デザイン 宮川ヒロミ氏

創立 60 周年を迎えた平成 21 年、デザインを広く公募し決定した。岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体、世界へと発信されていくこと、そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐ進むことを祈念してデザインされている。また、学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。

○ 学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さんの人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上で決定的に重要です。学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

1. 本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
2. 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
3. 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
4. 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
5. 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
6. IT技術により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
7. 長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

○ 教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。

1. 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
2. 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
3. 研究に取り組む姿、日常生活、それらのすべてが学生に対する教育である。
4. 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
5. 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
6. 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
7. それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

○ 社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、『象牙の塔』という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

1. 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
2. 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
3. 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
4. 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
5. 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
6. 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
7. 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

○ 大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少なからず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、役員と教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

1. 中期目標、中期計画を確実に実行する。
2. 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
3. 環境問題を重視した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
4. 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
5. 外部資金の獲得に務め、財政基盤を強化する。
6. 情報の透明性と公開性を重視し、効率的かつ合理的な運営を行う。
7. 教職員に優れた人材を採用し、その育成に努める。

文部科学省では、大学改革の取組が一層推進されるよう、各大学などでの教育改革の取組を選定、支援している。
岐阜大学では、各種プログラムに積極的に応募し、採択されている。



21 世紀 COE プログラム

年 度	プログラム名	拠 点	分 野
平成 14 ～ 18 年度	野生動物の生態と病態からみた環境評価	大学院連合獣医学研究科	複合領域
平成 16 ～ 20 年度	衛星生態学創生拠点	流域圏科学研究センター	革新的学術分野

特色ある大学教育支援プログラム等

年 度	プログラム名	部局等	テーマ
特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)			
平成 15 ～ 18 年度	能動・思考促進型を柱とする全人的医学教育	医学部	教育方法の工夫改善
平成 16 ～ 19 年度	地域・大学共生型教師教育システム	教育学部	大学と地域・社会との連携の工夫改善
現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代 GP)			
平成 16 ～ 18 年度	地域協学型の風土保全教育プログラム ーぎふ公民館大学ー	応用生物科学部 地域科学部	地域活性化への貢献
平成 16 ～ 18 年度	教師のための遠隔大学院カリキュラムの開発	教育学部	IT を活用した実践的遠隔教育 (e-Learning)
平成 19 ～ 21 年度	臨床医学教育を強化向上させる ICT ー e-Learning で培う医の心と技ー	医学部医学教育 開発研究センター	教育効果向上のための ICT 活用教育の推進
このプログラムは、ICT を活用した e-Learning とシミュレーション教育により、安心・安全な学習環境下で、学生が繰り返し自己学習することにより、知識のみならず、医の心と技をより一層獲得できる教育体制を目指す。さらに、自己評価と省察を基本とした e-ポートフォリオの導入により、より完成度の高い臨床医学教育を行う。			
資質の高い教員養成推進プログラム(教員養成 GP)			
平成 18 ～ 19 年度	教育臨床実習重視の教師発達支援プログラム	教育学部	
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援 GP)			
平成 19 ～ 21 年度	生涯健康を目指した学生健康支援プログラム	岐阜大学	
自らの健康を管理するための知識や実践力を習得することは、生涯にわたる健康の礎となる。本プログラムは、在学時における軽微な健康障害の改善と学生の健康増進を支援することにより、将来の重篤な健康障害を防ぐことを目的としている。禁煙教育の充実、総合的な学生相談窓口「学生ラウンジ」の設置等、「生涯健康教育」の推進にむけて、保健管理センターを中心に全学的なネットワークによる健康支援体制をさらに充実させていく取組である。			

○ 大学院教育改革支援プログラム (大学院 GP)

年 度	プログラム名	拠 点
平成 20 ～ 22 年度	グローバル化に向けた実践獣医学教育の推進	大学院連合獣医学研究科

現在、獣医学研究者の資質として強く求められているのは、深い洞察力と危機予測能力、粘り強い学習能力、国際的な即応力である。特に、感染症、食の安全性、産業動物と家畜衛生、伴侶動物医療の高度化は、獣医学領域で社会的要請が強い項目である。本プログラムでは、科学英語教育を充実させて4つの構成大学(岐阜大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学)及び附属研究センターと3つの連携機関(国立感染症研究所、国立医薬品食品衛生研究所、(独)動物衛生研究所)を活用し、実践的な獣医学教育を行う。21世紀COEプログラムで築いた東南アジアの大学(タイ・カセサート大学、インドネシア・ガジャマダ大学やボゴール農科大学など)との共同研究で感染症や食の安全性について現状を実体験させる。また、欧米の獣医科大学で先進的な獣医臨床教育を体験させる。

○ 戦略的大学連携支援事業

年 度	プログラム名	拠 点
平成 20 ～ 22 年度	国際的視点に立つ創薬研究者養成のための実践的な教育研究システム	岐阜大学、岐阜薬科大学

この取組は、岐阜大学と岐阜薬科大学との連合大学院(大学院連合創薬医療情報研究科(後期3年のみの博士課程))における人材育成をより高度に実現し、岐阜地域での生命科学研究拠点を狙うため、博士前期課程(修士課程)との連携を推進する取組である。具体的には、1. 先進的かつ国際的視点に立つ生命創薬科学に関する講義及び実践的演習の履修、2. 国際競争力の獲得のための実践英語力の習得、が可能なコース制を導入し、博士前期課程(修士課程)で研究基礎を修得できるシステムを確立する。同時に、既存カリキュラムの実習内容の見直しを行い、優れた人材を輩出する。この人材と連携のネットワークの活用、関連企業等との共同研究により、岐阜地域での生命科学研究拠点形成を目指すものである。

経済産業省が公募した「体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業」について、平成21年度の委託先として本学が採択された。

○ 体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業

年 度	事業名称
平成 21 年度	全学的な社会人基礎力育成をめざす教育システムの開発

この事業は、従来のカリキュラムを基盤として、社会人基礎力の能力要素と評価、指導の観点を組み入れた全学的な教育システムモデルの構築をめざす。

■ 取組の目的

- 1 入学から卒業までの体系的な科目等の編成と評価
- 2 インターンシップ、卒業研究等における実践型学習の教育プログラムの開発と検証
- 3 過疎教育における通常科目の教育プログラムの開発と検証
- 4 学内普及におけるシラバス明記と研修プログラムの開発
- 5 電子ポートフォリオを活用した社会人基礎力の評価方法の開発と検証



○ 人獣感染防御研究センター

(平成 16 年 9 月設置)

本センターは、新興・再興感染症等に対する論理的創薬体制（立体構造決定、創薬計算、有機合成、バイオアッセイ）を構築し、主に人獣共通感染症をターゲットとする治療薬の開発研究を推進するとともに、家畜や野生動物に起因する感染症に対する防御対策の研究開発を目的に設置した。

また、文部科学省の「新興・再興感染症研究ネットワーク」の参画機関として、新興・再興感染症研究拠点形成プログラム・人獣共通感染症研究クラスターの一翼を担い、特にプリオン病とウイルス感染症の予防・治療薬の開発を担当している。

代表的な研究成果としては、理論的創薬法により治療薬に結びつく可能性のある新規の抗病原体化合物を 20 種類以上発見したことがあげられる。

研究部門					
プリオン研究部門	ウイルス研究部門	創薬・分子設計(有機合成)部門	動物病態部門	野生動物感染症研究部門	計
9	2	4	1	1	17 人

○ 先端創薬研究センター

(平成 17 年 10 月設置)

本センターは、岐阜薬科大学との連携のもと、天然資源・生体分子の高次利用による生命機能探索分子、疾病診断法、健康食品、医薬品などの研究開発の推進とそれらの技術移転による地域経済の再生を目的に設置し、予防医学・創薬への展開を目指してバイオ分子活性研究を推進している。

また、平成 17～18 年度に採択された経済産業省の地域新生コンソーシアム研究開発事業についても、両大学が連携・推進し、地域の活性化に貢献した。

RNA 創薬や分子イメージング研究などの分野で重要な成果をあげており、将来的にはさらに諸機関とも連携して「先端創薬推進機構」に発展させ、創薬科学の全国的・国際的拠点化を目指している。

研究開発部					
高次生命機能探索分子創製	高機能性天然資源探索	生体応答解析	バイオインフォマティクス	治 験	計
8	5	・免疫・アレルギー 3 ・生活習慣病 2 ・認知症 4 ・感染症 4	3	治験・医学部附属病院 ・生命科学総合研究支援センター 薬物動態 1	30 人

○ 金型創成技術研究センター

(平成 18 年 7 月設置)

本センターは、文部科学省の平成 18 年度科学技術振興調整費の採択を受け設置したもので、地域（岐阜県、大垣市、金型産業界）と連携し、次世代の金型産業を担う高度職業人の養成を目的としている。本学教員のほか、地元企業から講師として技術者を招き、金型技術の高度化・伝承を継続的かつ着実に実行するとともに、地域産業振興に貢献する“創造的かつ意欲ある若手技術者”の育成のため、学部・大学院での教育はもとより、金型実務経験を有する社会人対象の短期集中研修コースを開設し、地域再生人材養成プログラムにおける「知の拠点」を目指している。

【教育目標】各コースの到達スキル目標は次のとおり

(1)学部 4 年生…金型設計と製作の基本スキルの修得

(2)大学院博士前期課程生…新しい金型の開発・設計能力の修得, マネジメント能力と後進への指導能力の修得

(3)社会人(金型経験者) …専門知識の深堀と CAE 技術の活用能力の修得

研究部				
金型材料・加工技術研究室	固相創形技術研究室(鋳造, プレス)	液相創形技術研究室(鋳造, 射出成形)	金型要素技術研究室	計
6	6	8	6	26 人

○ 未来型太陽光発電システム研究センター

(平成 18 年 12 月設置)

本センターは、太陽光発電システム未来技術の研究開発を目的に設置した。高効率・大面積・長寿命・高信頼性・低コストを実現させるための太陽電池開発研究を行うとともに、発電施設として実用化するためのシステム開発を行う。

また、本センターにおける研究は、平成 18 年度に(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の 3 件のプロジェクトに採択されたものであり、太陽光発電システム研究における独創的、先進的研究の拠点として知の創造と統合に努め、環境に優しいエネルギーシステムの創出を目指している。

研究部門				
薄膜シリコン系太陽電池研究開発部門	発電量評価技術研究開発部門	色素増感太陽電池研究開発部門	太陽電池モジュール評価技術研究開発部門	計
8	8	8	1	25 人

○ 社会資本アセットマネジメント技術研究センター

(平成 20 年 7 月設置)

岐阜県では、多発する自然災害で被る社会資本の傷みの補修だけでなく、既存の構造物の老朽化の整備・維持管理を支える県内建設業界の疲弊が大きな問題となっている。

本センターは、文部科学省の平成 20 年度科学技術振興調整費の採択を受け設置したもので、地域（岐阜県、建設業界）と連携し、行政と業界双方の技術力の向上を図るための人材養成を目的としている。センターに「社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット」を開設し、所定の実務経験を有する県及び県内企業技術者を対象に少人数制短期集中カリキュラムを実施し、共通の高度な知識をもった総合技術者「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)」の資格を付与する。この人材養成を通じて「安全・安心な県土の保全」と「地域の活性化」の実現を目指すものである。

一方、最新の構造物技術診断、補修技術及びリスクに基づく戦略的整備意思決定システムを開発し、得られた研究成果を、人材育成ユニットのカリキュラムに反映する。人材育成目標は、3 年目 50 人、5 年目 100 人である。

研究開発部門			
社会基盤診断技術研究室	社会基盤補修技術研究室	総合リスクマネジメント技術研究室	計
10	8	8	26 人

明治 6.12
師範研習学校
↓
明治 8. 2
岐阜県師範学校
↓
明治 13. 9
岐阜県華陽学校
↓
明治 19. 5
岐阜県師範学校
↓
明治 19.12
岐阜県尋常師範学校
↓
明治 31. 4
岐阜県師範学校
↓
明治 44. 4
岐阜県師範学校
明治 44. 4
岐阜県女子師範学校

大正 11. 4
岐阜県実業補習学校
教員養成所
↓
昭和 4. 4
岐阜県実業学校
教員養成所
↓
昭和 10. 1
岐阜県青年学校
教員養成所
↓
昭和 18. 4
岐阜師範学校
↓
昭和 19. 4
岐阜青年師範学校

昭和 24. 5 設置
附属図書館

昭和 57.10 廃止
那加分館

昭和 59. 6 廃止
長良分館

平成 16. 3 廃止
医学部分館

昭和 40. 4 設置,
平成 8. 9 廃止
教養部

平成 8.10
地域科学部

昭和 47. 5 設置, 昭和 50. 3 廃止
附属教育工学センター

昭和 50. 4 設置, 平成 15. 3 廃止
附属カリキュラム開発研究センター

明治 8. 8
岐阜県公立病院附属医学校

明治 13. 3
岐阜県医学校

明治 19. 7
廃校

明治 33. 4
私立医学講習所

明治 36. 3
廃校

昭和 19. 4
岐阜県立女子医学専門学校

昭和 22. 6
岐阜県立医科大学

昭和 24. 4
岐阜医工科大学医学部

昭和 25. 4
岐阜県立大学医学部

昭和 29. 5
岐阜県立医科大学

昭和 39. 4
医学部

昭和 42. 6 設置, 平成 6. 3 廃止
附属看護学校

昭和 46. 4 設置, 平成 14. 3 廃止
附属反射研究施設

昭和 53. 4 設置, 平成 15. 3 廃止
附属嫌気性菌実験施設

平成 3.10 併設, 平成 15. 3 廃止
医療技術短期大学部

平成 7. 4 設置, 平成 15. 3 廃止
附属動物実験施設



岐阜県師範学校



岐阜高等農林学校本部棟

大正 12.12
岐阜高等農林学校

昭和 19. 4
岐阜農林専門学校

昭和 17.12
岐阜県立高等工業学校

昭和 20. 2
岐阜県立工業専門学校

昭和 22. 2
岐阜工業専門学校

昭和 24. 4
岐阜医工科大学工学部

昭和 25. 4
岐阜県立大学工学部

昭和 27. 4
工学部

昭和 34. 4 併設, 平成 6. 3 廃止

工業短期大学部

昭和 24. 5 設置, 平成 16. 3 廃止
附属農場

昭和 28. 4 設置, 平成 16. 3 廃止
附属演習林

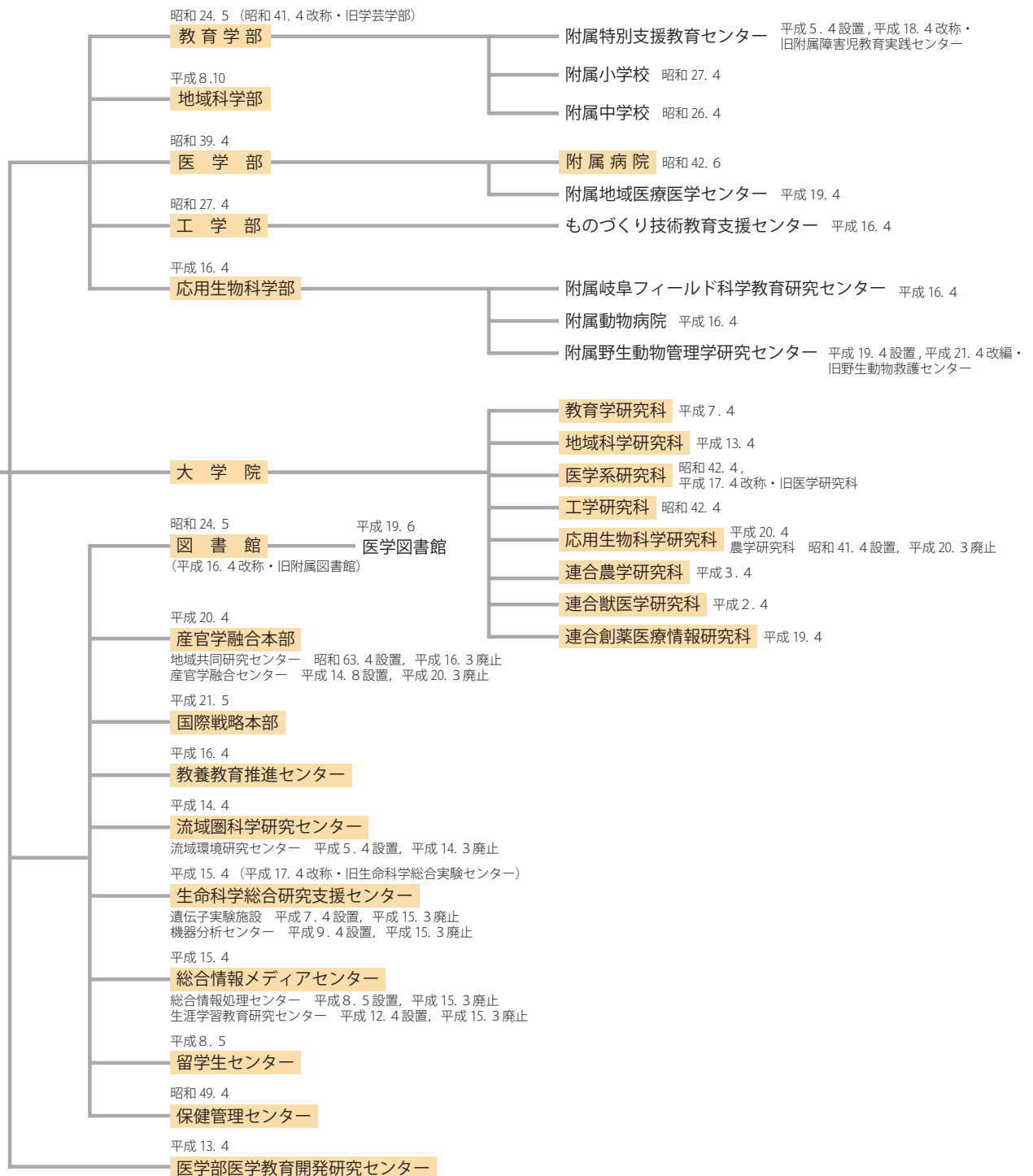
昭和 28. 4 設置, 平成 16. 3 廃止
附属家畜病院

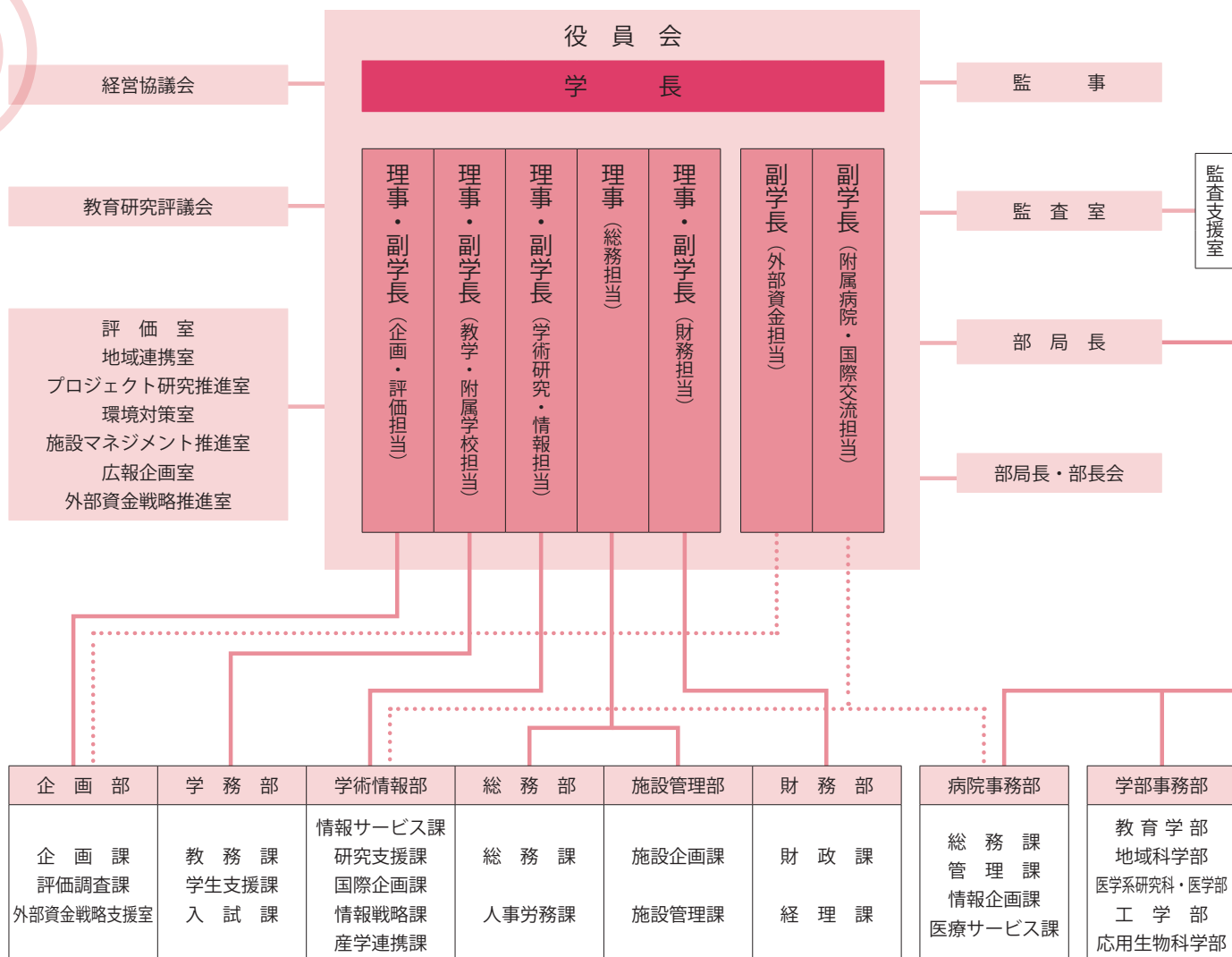
昭和 41. 4 設置, 平成 5. 3 廃止
附属山地開発研究施設

平成 16 年度から学生募集停止
(3 年次編入を除く)

○ 歴代学長

初 代	青 木 文 一 郎	昭和24年 5・31	～	昭和29年 7・1
事務取扱	高 橋 悌 蔵	昭和29年 7・1	～	昭和30年 5・31
第 2 代	吉 井 義 次	昭和30年 6・1	～	昭和36年 5・31
第 3 代	四 方 博	昭和36年 6・1	～	昭和42年 5・31
第 4 代	今 西 錦 司	昭和42年 6・1	～	昭和48年 5・31
第 5 代	林 金 雄	昭和48年 6・1	～	昭和52年 5・31
第 6 代	館 正 知	昭和52年 6・1	～	昭和58年 5・31
第 7 代	早 野 三 郎	昭和58年 6・1	～	平成元年 5・31
第 8 代	加 藤 晃	平成元年 6・1	～	平成 7 年 5・31
第 9 代	金 城 俊 夫	平成 7 年 6・1	～	平成13年 5・31
第10 代	黒木登志夫	平成13年 6・1	～	平成20年 3・31
第11 代	森 秀 樹	平成20年 4・1	～	





学 部

教 育 学 部

附属特別支援教育センター
附属小学校
附属中学校

地域科学部

医 学 部

附 属 病 院
附属地域医療医学センター

工 学 部

ものづくり技術教育支援センター

応用生物科学部

附属岐阜フィールド科学教育研究センター
附属動物病院
附属野生動物管理学研究センター

大 学 院

教育学研究科

地域科学研究科

医学系研究科

工学研究科

応用生物科学研究科

連合農学研究科

岐阜大学 静岡大学 (信州大学)*

連合獣医学研究科

岐阜大学 帯広畜産大学 岩手大学 東京農工大学

連合創薬医療情報研究科

岐阜大学 岐阜薬科大学

※平成 17 年度から学生募集停止

図 書 館

図 書 館

医学図書館

産官学融合本部

国際戦略本部

共通教育施設

研究施設

共同教育研究支援施設

教養教育推進センター

流域圏科学研究センター

生命科学総合研究支援センター

総合情報メディアセンター

留学生センター

保健管理センター

プロジェクト研究センター

人獣感染防御研究センター

先端創薬研究センター

金型創成技術研究センター

未来型太陽光発電システム研究センター

社会資本アセットマネジメント技術研究センター

全国共同利用施設

医学部医学教育開発研究センター



役員等一覧

●役員等

学 長	森 秀 樹
理 事(副学長)企画・評価担当	安 田 孝 志
理 事(副学長)教学・附属学校担当	古 田 善 伯
理 事(副学長)学術研究・情報担当	小 森 成 一
理 事 総務担当	船 戸 輝 久
理 事(副学長)財務担当	竹 森 正 孝
監 事	水 谷 嘉 之
監 事(非常勤)	戸 田 一 彦
副学長 外部資金担当	杉 戸 真 太
副学長 附属病院・国際交流担当	土 肥 修 司

●経営協議会委員

学 長	森 秀 樹
理 事	安 田 孝 志
理 事	古 田 善 伯
理 事	小 森 成 一
理 事	船 戸 輝 久
理 事	竹 森 正 孝
副学長	杉 戸 真 太
副学長	土 肥 修 司
医学部附属病院長	森 脇 久 隆
イビデン株式会社代表取締役会長	岩 田 義 文
太平洋工業株式会社 代表取締役社長	小 川 信 也
岐阜薬科大学長	勝 野 真 吾
東海学院大学短期大学部学長	神谷真弓子
勸文化財建造物保存技術協会会長	川 村 恒 明
アステラス製薬株式会社 代表取締役会長	竹 中 登 一
教育ジャーナリスト・鶏鳴学園学長	中 井 浩 一
岐阜県副知事	西 藤 公 司
岐阜市長	細 江 茂 光
核融合科学研究所顧問	本 島 修

●教育研究評議会委員

学 長	森 秀 樹
理 事	安 田 孝 志
理 事	古 田 善 伯
理 事	小 森 成 一
理 事	船 戸 輝 久
理 事	竹 森 正 孝
副学長	杉 戸 真 太
副学長	土 肥 修 司
教育学部長	江 馬 諭
地域科学部長	高 橋 弦
医学系研究科長	犬 塚 貴
工学部長	若 井 和 憲
応用生物科学部長	小 見 山 章
連合農学研究科長	高見澤一裕
連合獣医学研究科長	石 黒 直 隆
連合創薬医療情報研究科長	北 出 幸 夫
産官学融合本部長	森 本 博 昭
流域圏科学研究センター長	藤田裕一郎
生命科学総合研究支援センター長	下 澤 伸 行
総合情報メディアセンター長	内 田 裕 市
留学生センター長	小 林 浩 二
教育学部教授	小井土由光
地域科学部教授	口 藏 幸 雄
医学系研究科教授	清 島 満
工学部教授	川 崎 晴 久
応用生物科学部教授	金 丸 義 敬

●学部長・センター長等

教育学部	学部長(研究科長)	江 馬 諭
	副学部長	小井土由光
	副学部長	宮 本 正 一
	副学部長	原 田 憲 一
	附属特別支援教育センター長	大 井 修 三
	附属小学校長	佐 藤 節 子
	附属小学校副校長	吉 村 希 至
	附属中学校長	佐 藤 節 子
地域科学部	附属中学校副校長	後 藤 信 義
	学部長(研究科長)	高 橋 弦
	副学部長	竹 内 章 郎
医学系研究科・医学部	副学部長	口 藏 幸 雄
	研究科長(学部長)	犬 塚 貴
	副研究科長(副学部長)	小 澤 修
	副研究科長(副学部長)	清 島 満
	副学部長	箕 浦 と き 子
	地域医療医学センター長	犬 塚 貴
医学部附属病院	附属病院長	森 脇 久 隆
	副病院長	武 田 純
	副病院長	岩 間 亨
	副病院長(看護部長)	間 宮 礼 子
	薬剤部長	伊 藤 善 規
工 学 部	学部長(研究科長)	若 井 和 憲
	副学部長	川 崎 晴 久
	副学部長	小 嶋 智
	副学部長	土 田 亮

応用生物科学部	学部長(研究科長)	小 見 山 章
	副学部長	金 丸 義 敬
	副学部長	福 井 博 一
	副学部長	福 士 秀 人
	附属岐阜フィールド科学教育研究センター長	宮 川 修 一
	附属動物病院長	鬼 頭 克 也
連合農学研究科	附属野生動物物管理学研究センター長	鈴 木 正 嗣
	研究科長	高見澤一裕
	研究科長	石 黒 直 隆
連合獣医学研究科	研究科長	北 出 幸 夫
	研究科長	高 橋 弦
連合創薬医療情報研究科	研究科長	北 出 幸 夫
	研究科長	高 橋 弦
図 書 館	図書館長(兼)	小 森 成 一
	医学図書館長	山 本 哲 也
産官学融合本部	本部長	森 本 博 昭
国際戦略本部	本部長(兼)	土 肥 修 司
教養教育推進センター	センター長(兼)	古 田 善 伯
流域圏科学研究センター	センター長	藤田裕一郎
生命科学総合研究支援センター	センター長	下 澤 伸 行
総合情報メディアセンター	センター長	内 田 裕 市
留学生センター	センター長	小 林 浩 二
保健管理センター	センター長	清 水 克 時
人獣感染防御研究センター	センター長	桑 田 一 夫
先端創薬研究センター	センター長	北 出 幸 夫
金型創成技術研究センター	センター長	三 輪 貴
未来型太陽光発電システム研究センター	センター長	野々村修一
社会資本アセットマネジメント技術研究センター	センター長	八 嶋 厚
医学部医学教育開発研究センター	センター長	鈴 木 康 之

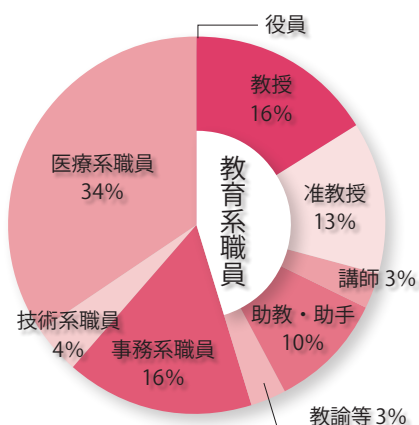
● 役員・職員数

(平成 21.5.1 現在)

区 分	役 員	教育系職員							事務系 職 員	技術系 職 員	医療系 職 員	合 計
		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	附属学校教員	小 計				
学長	1											1
理事	5											5
監事	1 (1)											1 (1)
大学本部									136 38	23 2		159 40
教育学部		52 6	35 5					87 11	14 5			101 16
大学院教育学研究科		6	5 1					11 1				11 1
附属小・中学校							56 12	56 12				56 12
地域科学部		23 2	19 4	2	2 1			46 7	9 3			55 10
医学部		13 7	11 11		16 14	1 1		41 33	22 8	7 2		70 43
大学院医学系研究科		42 1	32 1	10	42 8			126 10				126 10
医学部医学教育開発研究センター		3			3 2			6 2				6 2
医学部附属病院			7	36 5	60 7			103 12	61 20	12 4	602 502	778 538
工学部・工学研究科		71 2	66 4	1	38 1			176 7	29 15	12 1		217 23
応用生物科学部		50	36 1	1	10 2			97 3	19 4	13 2		129 9
大学院連合農学研究科		1						1				1
大学院連合獣医学研究科		1						1				1
大学院連合創薬医療情報研究科		1						1				1
産官学融合本部		1	1					2				2
教養教育推進センター				1 1				1 1				1 1
流域圏科学研究センター		7	5		1			13	1 1	1		15 1
生命科学総合研究支援センター		2	3 1		4 1			9 2		5 2		14 4
総合情報メディアセンター		7	5 1		1 1			13 2				13 2
留学生センター		2 1	3 2					5 3				5 3
保健管理センター		1 1	1 1		2			4 2			3 3	7 5
人獣感染防御研究センター		1			8			9				9
先端創薬研究センター												
金型創成技術研究センター		1	1					2				2
未来型太陽光発電システム研究センター												
社会資本アセットマネジメント技術研究センター												
合 計	7 (1)	285 20	230 32	51 6	187 37	1 1	56 12	810 108	291 94	73 13	605 505	1,786 (1) 720

※ 朱書は女性の人数を内数で示す。() は非常勤役員を外数で示す。

● 役員・職員の構成比率



教育学部 3課程 12講座	学校教育教員養成課程 特別支援学校教員養成課程 生涯教育課程	講座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育, 特別支援教育
		附属施設	附属特別支援教育センター 附属小学校 附属中学校

地域科学部 2学科 4講座	地域政策学科	講座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造

医学部 2学科	医学科	学科目	人体構造学, 代謝・機能学, 遺伝・発生・発達学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 神経・精神・行動学, 消化器・検査医学, 内分泌代謝学, 血液学, 循環器・呼吸器学, 腎・尿路学, 運動器学, 皮膚科学, 感覚器医学, 免疫応答学, 女性生殖学, 麻酔・救急・疼痛学, 放射線医学, 地域・産業保健学, 生命倫理・法医学
	看護学科	講座	基礎看護学, 母子看護学, 成人・老年看護学, 地域・精神看護学
		附属施設	附属病院, 附属地域医療医学センター

工学部 9学科 34講座	社会基盤工学科	講座	地図マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン 寄附講座: 地盤構造物保全学講座(OYO・テクノソール) 地盤防災講座(前田工織)
	機械システム工学科		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学
	応用化学科		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学
	電気電子工学科		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学
	生命工学科		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学
	応用情報学科		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報
	機能材料工学科		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学
	人間情報システム工学科		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学
	数理デザイン工学科		計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン
		附属施設	ものづくり技術教育支援センター

応用生物科学部 3課程 4講座	食品生命科学課程 生産環境科学課程 獣医学課程	講座	応用生命科学, 生物生産科学, 生物環境科学, 獣医学
		附属施設	附属岐阜フィールド科学教育研究センター 附属動物病院 附属野生動物管理学研究センター



教育学部



地域科学部



医学部 / 同附属病院



工学部 / 応用生物科学部

教育学研究科	教職大学院課程	教職実践開発専攻	コース	学校改善, 授業開発, 教育臨床実践, 特別支援学校		
	修士課程	心理発達支援専攻	コース	臨床心理学, 学校心理学, 特別支援教育		
		カリキュラム開発専攻	専修	カリキュラム開発		
		教科教育専攻	専修	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育		
地域科学研究科	修士課程	地域政策専攻	領域	経済社会, 行政社会, 自然環境		
		地域文化専攻		社会生活, 人間文化		
医学系研究科	博士課程	医科学専攻	講座	分子・構造学	分野	細胞情報学, 分子生理学, 薬理病態学, 寄生虫学, 遺伝発生学, 内分泌代謝病態学, 小児病態学, 病態情報解析医学
				病態制御学		解剖学, 分子病態学, 高度先進外科学, 整形外科学, 皮膚病態学, 泌尿器科学, 麻酔・疼痛制御学, 蘇生・集中治療学, 口腔病態学
				神経統御学		高次神経形態学, 生理学, スポーツ医科学, 神経内科・老年学, 精神病理学, 脳神経外科学, 耳鼻咽喉科学, 眼科学＊脳病態解析学
				腫瘍制御学		腫瘍病理学, 免疫病理学, 腫瘍外科学, 消化器病態学, 血液病態学, 産科婦人科学, 放射線医学, 疫学・予防医学, 臨床腫瘍学
				医療管理学		医療情報学, 総合病態内科学, 臨床薬剤学, 医療経済学, 救急・災害医学, 法医学, 産業衛生学, 医学教育学
	博士課程・後期	再生医科学専攻	講座	再生分子統御学	分野	組織・器官形成, 神経生物, 病原体制御学
				再生工学		生命機能分子設計, 知能イメージ情報
	修士課程	看護学専攻	領域	再生応用学	分野	循環病態学, 呼吸病態学, 医学系倫理・社会医学
看護学教育 実践看護学				看護学教育 母性・小児看護学, 成人急性期看護学, 地域看護学		
		寄附講座	脊椎骨関節再建外科学講座(中外製薬株式会社ほか)			
			地域医療学講座(岐阜県)			
* 連携分野						
工 学 研 究 科	博士前期課程	社会基盤工学専攻	講座	地圏マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン		
		機械システム工学専攻		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学		
		応用化学専攻		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学		
		電気電子工学専攻		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学		
		生命工学専攻		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学		
		応用情報学専攻		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報		
		機能材料工学専攻		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学		
		人間情報システム工学専攻		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学		
		数理デザイン工学専攻		計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン		
		環境エネルギーシステム専攻		環境システム, 再生可能エネルギーシステム, バイオマス変換システム, ハイドレート高圧物性工学, 新機能エネルギー材料学		
	博士後期課程	生産開発システム工学専攻	講座	社会基盤工学, 生産基礎工学		
		物質工学専攻		応用材料化学, 応用分子化学		
		電子情報システム工学専攻		電子物性工学, 知識情報工学		
		環境エネルギーシステム専攻		環境システム, 再生可能エネルギーシステム, バイオマス変換システム, ハイドレート高圧物性工学, 新機能エネルギー材料学		
応用生物科学研究科	修士課程	資源生命科学専攻 生物環境科学専攻	コース	食品科学, 分子生命科学 生物生産科学, 環境生態科学		
	博士課程	生物生産科学専攻	講座	植物生産利用学, 動物生産利用学, 経営管理学		
生物環境科学専攻		環境整備学, 生物環境管理学				
生物資源科学専攻		生物資源利用学, 生物資源化学, 生物機能制御学				
連合獣医学研究科	博士課程	獣医学専攻	講座	基礎獣医学, 病態獣医学, 応用獣医学, 臨床獣医学		
連合創薬医療情報研究科	博士課程	創薬科学専攻	領域	生命分子科学, システム生命工学		
		医療情報学専攻		生命情報, 生体制御		

蔵書数

区分	図 書 (冊)			雑 誌 (種)		
	和 書	洋 書	計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計
図 書 館	523,275	211,857	735,132	9,279	3,859	13,138
医学図書館	70,074	81,903	151,977	1,326	1,799	3,125

開館時間

区分	月～金曜日	土曜日	日, 祝日 (試験期間のみ)	備 考
図 書 館	9 : 00 ~ 21 : 30	10 : 00 ~ 18 : 00	10 : 00 ~ 18 : 00	各季休業中及び3月は閉館時間を変更する場合がある
医学図書館	8 : 30 ~ 20 : 00	10 : 00 ~ 18 : 00		医学系研究科・医学部の教員及び大学院生は随時利用可能

休 館 日

図 書 館	日曜日, 祝日 注1)	年末年始 (12.28 ~ 1.4)	館内整理日 (第2火曜日) 注2)	各季休業期間及び3月の一部土曜日
医学図書館	日曜日, 祝日	年末年始 (12.28 ~ 1.4)	館内整理日 (第2火曜日)	

備考 注1) 試験期間を除く。 注2) 7月, 10月, 1月及び2月を除く。

利用状況 (平成 20 年度)

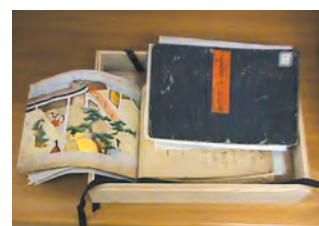
区 分		教 職 員	学 生	学 外 者	計
入館者数(人)	図 書 館	5,077	174,134	2,158	181,369
	医学図書館	6,300	41,552	572	48,424
	計	11,377	215,686	2,730	229,793
貸出冊数(冊)	図 書 館	3,303	40,676	545	44,524
	医学図書館	951	9,094	0	10,045
	計	4,254	49,770	545	54,569
文献複写数(件)	図 書 館	8,360		6,370	14,730
	医学図書館	7,067		2,484	9,551
	計	15,427		8,854	24,281

備考 開館日数 図書館: 282 日, 医学図書館: 277 日 (平成 20 年 6 月 1 日開館)



コレクション

コレクション名	摘 要
静嘉堂文庫所蔵国語学資料集成	国語学関係の写本・版本・活字本 (明治時代) 472 点, 769 冊のマイクロフィルム版
静嘉堂文庫所蔵歌学資料集成	和歌および連歌俳諧などの古典籍資料 1,333 点, 3,192 冊のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵江戸文学総瞰	江戸文学 878 点, 1,530 冊の原本のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総瞰	古物語, 説話物語, 歴史物語などの物語文学 95 点, 695 冊のマイクロフィルム版
環境問題研究コレクション	世界各地の環境問題研究の文献 雑誌 19 点, 叢書 26 点, 図書 200 冊のコレクション
明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌 完全復刻版コレクション	明治・大正・昭和の教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション
Landolt-Börnstein 数値表 第1群 原子核・素粒子物理学	原子核・素粒子物理学に関する数値表
ウェブスター: アメリカ英語辞書コレクション	ウェブスター辞書の 1806 年の初版本から 1943 年までに刊行された辞書の異版 100 点, 108 冊の英語辞書コレクション
特別資料 (貴重書)	本学の前身である岐阜師範学校, 岐阜高等農林学校, 県立医科大学当時に収集された江戸, 明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約 1,500 点を特別資料庫に収蔵

大東急記念文庫所蔵
マイクロフィルム版の一部ウェブスター: アメリカ英語辞書
コレクションの一部貴重書の一部
奈良絵本「小しきぶ」2冊

医学部附属病院は、平成 16 年 6 月に新築・移転事業が完了し、柳戸地区で開院した。

病院の第一の特色は、光通信システムによる高性能完全電子カルテ化による診療及び病院経営・管理である。完全電子カルテにより、医療の質の高度均質化、安全性と経営効率の向上及び診療がスピードアップ化している。また、この方式は、病診・病病連携において医療情報交換の迅速化と正確性が保証され、大学病院が、地域医療完結型医療システムの中

心的存在として地域社会に貢献している。

第二の特色は、全診療科から専門医約 30 名と約 80 名の看護師を配置した高次救命治療センターである。診療科の壁を外した横断的診療体制の中で高次救命救急医療を行っている。

本病院は、先進医療の開発・提供と医師及び医療人の臨床研修病院の機能を備えた、地域の中核となる 21 世紀型「Intelligent Hospital」である。

(平成 21.4.1 現在)

○ 患 者 数 (平成 20 年度)	
外来延べ患者数	301,754 人
外来初診患者数 (内数)	21,127 人
1 日平均 外来患者数	1,241.8 人
入院延べ患者数	183,006 人
1 日平均 入院患者数 (内数)	501.4 人
病床稼働率	82.7%

○ 診療科及び病床数	
区 分	病床数
第 1 内科	61
第 2 内科	61
第 3 内科	24
神経内科・老年科	12
総合内科	7
第 1 外科	44
第 2 外科	38
産科婦人科	35
整形外科	38
脳神経外科	32
眼科	21
耳鼻咽喉科	32
皮膚科	20
泌尿器科	24
精神神経科	37
小児科	45
放射線科	10
麻酔科・疼痛治療科	6
歯科口腔外科	11
高次救命治療センター	24
ICU	6
共通	18
計	606



医学部附属病院

○ 中央診療施設等

検査部
手術部
放射線部
材料部
輸血部
病理部
総合診療部
医療情報部

光学医療診療部
高次救命治療センター
医療連携センター
生体支援センター
がんセンター
エイズ対策推進センター
肝疾患診療支援センター
栄養管理室

○ 薬 剤 部

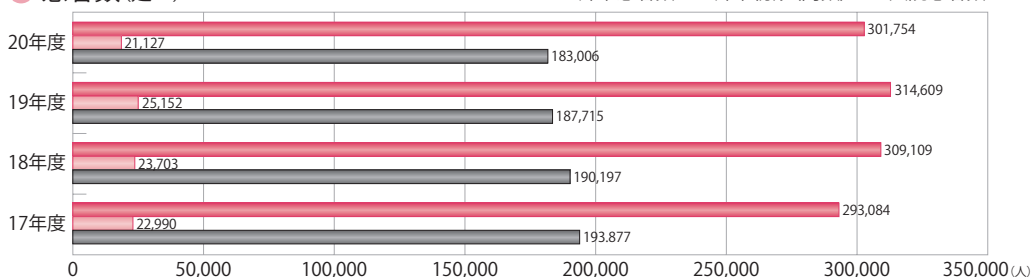
○ 看 護 部

○ 危機管理室

○ 医療安全管理室

○ 患者数 (延べ)

■ 外来患者数 ■ 外来初診 (内数) ■ 入院患者数



○ 1日平均外来患者数





○ 教養教育推進センター

「人文、社会、自然などについての幅広い知見」の育成のため、すべての学部の教員がすべての学生に対して行う教養教育に関し、教材研究・開発、授業編成、点検・評価等の総合的推進を図る。

教養教育推進センター

○ 流域圏科学研究センター

流域圏における森林・草原植生系、河川・水系及び土壌・地盤系の多様な自然科学的事象、並びに、人為的影響の解明に関する学術研究の遂行と成果の実際の貢献を目的として、「衛星生態学創生拠点」や「流域水環境リーダー育成拠点」の形成を強力に推進し、同時に、安全安心で豊かな自然環境を有する地域づくりに寄与する。

流域圏科学研究センター



○ 生命科学総合研究支援センター

ゲノム・プロテオーム解析や遺伝子組換え、ナノテクノロジー、放射性同位元素を用いた技術、大型分析機器を用い、生命科学に関連する先進的分野の教育研究を行うとともに放射性同位元素、実験動物、大型分析機器の管理など、学内の研究を推進・支援する。

[ゲノム研究分野、嫌気性菌研究分野、動物実験分野、機器分析分野、放射性同位元素管理室]

ゲノム研究分野棟

○ 総合情報メディアセンター

学内情報ネットワークシステムの整備及び情報関連設備の学内への提供等を行うとともに、情報メディアの活用、e-Learning システム、地域連携システム等の開発研究を行い、本学における教育・研究・業務の高度情報化の総合的な推進を図る。

[高度情報システム開発研究部門、情報メディア開発研究部門、カリキュラム開発研究部門、生涯学習システム開発研究部門、情報システム管理部門]

総合情報メディアセンター A 館



○ 留学生センター

外国人留学生に対する日本語・日本事情その他修学上に必要な教育や生活上の指導助言、海外留学を希望する学生に対する指導助言、夏期短期留学生の受入れ及び派遣の企画・運営など学生の国際交流推進に関する業務を行う。

留学生センター



○ 保健管理センター

学生及び職員の健康増進,並びに学生の安全衛生環境保持・改善を図ることを主な目的とし,学内の保健計画の立案・実践について指導援助している。学生健康診断の実施とそれに基づく生涯の健康を守るための保健指導,就学支援,救急処置,健康相談,健康啓発活動と,その業務は多彩である。

また,学生の健康に関する調査・研究を行い,学内の施策提言につなげているほか,県内の各大学と協働し,その中核として大学生の健康管理に関する研究会を推し進め,地域貢献を担っている。

保健管理センター



○ 宇宙電波観測所

電波天文学及び測地学の研究と技術開発の推進に資することを目的としている。主要設備である直径11mの電波望遠鏡は,国内外の電波望遠鏡との共同観測により,ブラックホール近傍の詳細な電波構造の解析ができるようになるとともに,大陸間の距離を数ミリメートルの精度で計測することが可能である。本学の教育・研究への貢献はもとより,東海地区の地殻変動の測地基準点として,地域への貢献も期待されている。

11m 電波望遠鏡

全国共同利用施設

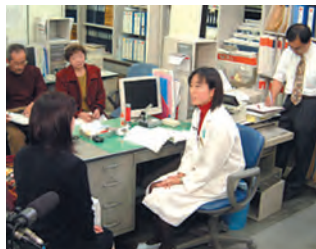
○ 医学部医学教育開発研究センター

本学が独自に推進してきたチュートリアル教育,模擬患者による医療コミュニケーション教育,e-Learning,バーチャル教材開発,クラークシップ型臨床教育などを基礎とし,全国の大学教員,指導医等とともに,医学教育のための人材育成,教育方法の開発・研究を推進する。

[チュートリアル部門,バーチャルスキル部門]



チュートリアル教育



模擬患者実習



医学教育ワークショップ



スキルスラボ実習



学部学生 現員には、外国人留学生を含み、()内は女子を内数で示す。

平成21年5月1日現在 (人)

学 部		入 学 定 員	3年次編 入学定員	現 員						計
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教育学部		250		264	267	272	322			1,125 (709)
地域科学部		100	10	109	109	111	135			464 (282)
医 学 部	医学科	100		108	88	76	79	88	79	518 (146)
	看護学科	80	10	89	72	89	88			338 (320)
工 学 部		510	30	568	558	612	778			2,516 (306)
応用生物科学部 * 1	食品生命科学課程 生産環境科学課程	160	10	171	162	184	177			695 (378)
	獣医学課程	25	5	28	30	33	37	32	33	192 (99)
学部学生 合計		1,225	65	1,337	1,286	1,377	1,616	120	112	5,848 (2,240)

* 1 応用生物科学部の現員には、改組前の農学部生物生産システム学科、獣医学科の在籍者を含む。

大学院生 現員には、外国人留学生を含み、()内は女子を内数で示す。

教職大学院課程

(人)

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員					学 位 名
			1年次	2年次			計	
教育学研究科	教職大学院課程	20	21	22			43 (10)	教職修士(専門職)

修士課程, 博士前期課程

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員					学 位 名
			1年次	2年次			計	
教育学研究科	修士課程	49	54	66			120 (70)	修士(教育学)
地域科学研究科	修士課程	20	18	22			40 (22)	修士(地域科学)
医学系研究科	修士課程	8	11	22			33 (32)	修士(看護学)
	博士前期課程	11	12	13			25 (3)	修士(再生医科学)
工学研究科	博士前期課程	275	285	294			579 (50)	修士(工学)
応用生物科学研究科 * 2	修士課程	89	90	108			198 (84)	修士(応用生物科学) * 2

博士課程, 博士後期課程, 後期3年のみの博士課程

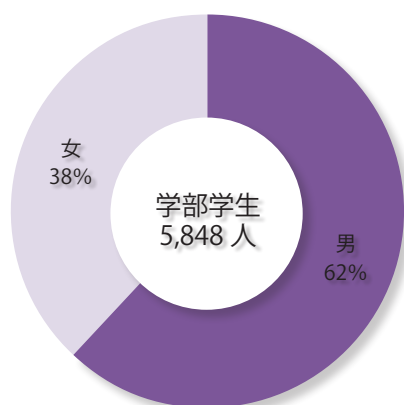
研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員					学 位 名
			1年次	2年次	3年次	4年次	計	
医学系研究科 * 3	博士課程	47	30	42	31	70	173 (34)	博士(医学)
	博士後期課程	6	4	14	28		46 (7)	博士(再生医科学)
工学研究科	博士後期課程	27	26	25	35		86 (12)	博士(工学)
連合農学研究科	後期3年のみの博士課程	16	25	21	64		110 (36)	博士(農学)
連合獣医学研究科	博士課程	20	28	29	34	29	120 (43)	博士(獣医学)
連合創薬医療情報研究科	後期3年のみの博士課程	6	6	12	8		26 (4)	博士(工学又は医科学又は薬科学)

大学院生 合計	594						1,599 (407)	
---------	-----	--	--	--	--	--	-------------	--

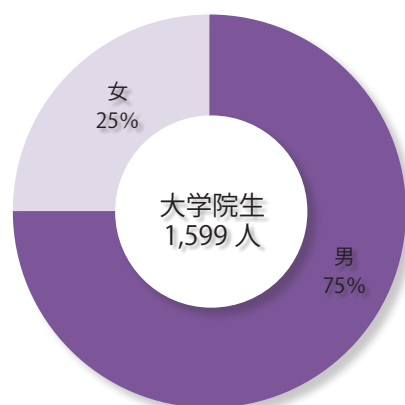
* 2 応用生物科学研究科の現員には、改組前の農学研究科(学位は修士(農学))の在籍者を含む。

* 3 医学系研究科の現員には、改組前の医学研究科の在籍者を含む。

男女比率(学部学生)



男女比率(大学院生)

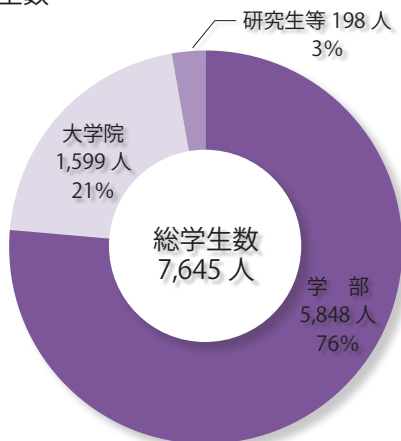


○ 研究生・科目等履修生・聴講生等

部 局 等	研 究 生	特別研究学生	科目等履修生	聴 講 生	特別聴講学生	現職教育内地留学生	日本語研修留学生	日本語・日本文化 研修留学生	計
教育学部	6 〈4〉		6	2	4 〈4〉	1			19 〈8〉
地域科学部	8 〈8〉			5	2 〈2〉				15 〈10〉
医学部	65 〈2〉			1					66 〈2〉
工学部	12 〈10〉		1		2 〈2〉				15 〈12〉
応用生物科学部	7 〈5〉		1	1	1 〈1〉				10 〈6〉
教育学研究科	3 〈1〉		3						6 〈1〉
地域科学研究科	1	2 〈2〉							3 〈2〉
医学系研究科		7							7
工学研究科	1				6 〈1〉				11 〈5〉
応用生物科学研究科	5 〈1〉	4 〈4〉							7 〈3〉
連合農学研究科		2 〈2〉							
連合獣医学研究科									
連合創薬医療情報研究科									
流域圏科学研究センター	1 〈1〉								1 〈1〉
総合情報メディアセンター									
生命科学総合研究支援センター									
留学生センター					7 〈7〉			6 〈6〉	13 〈13〉
ネットワーク大学コンソーシアム岐阜*					25				25
合 計	109 〈32〉	15 〈8〉	11	9	47 〈17〉	1		6 〈6〉	198 〈63〉

*ネットワーク大学コンソーシアム岐阜とは、岐阜県と県内 18 大学等からなる大学連合。学生は、単位互換制度のもとに他大学の授業を受講し、単位を修得すれば自校の単位として認定される。〈 〉内は外国人留学生を内数で示す。

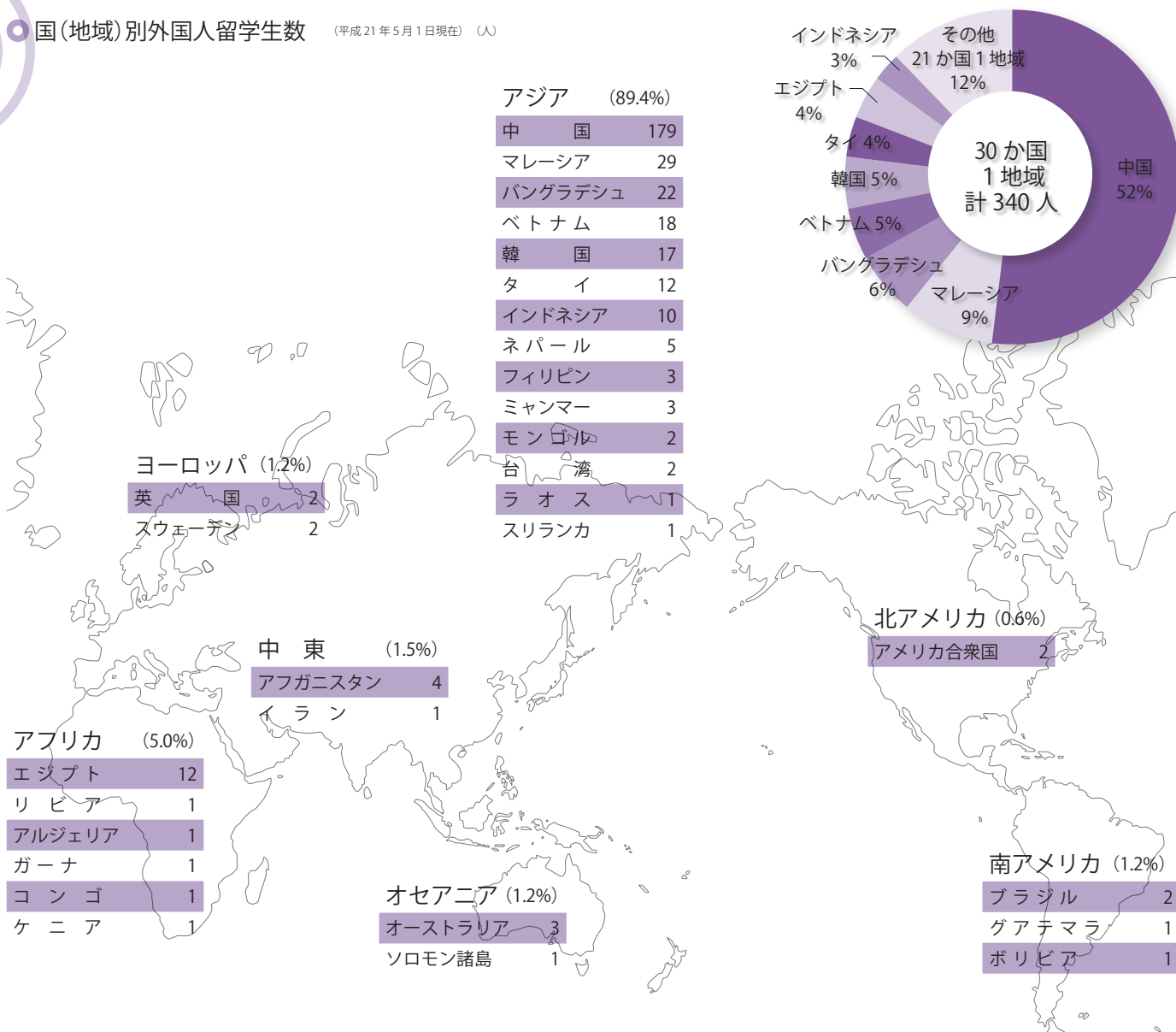
○ 総学生数



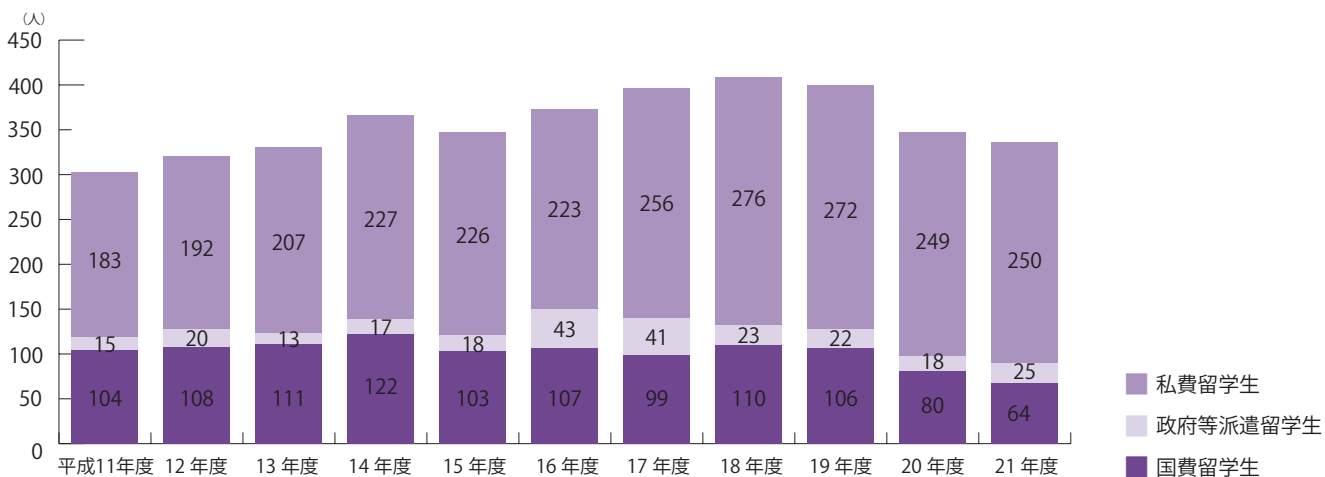
○ 附属学校

学 校 名	学 級 別	学 級	入 学 定 員	現 員
教育学部附属小学校	普 通 学 級	18	120	719
	特別支援学級	3	若干名	15
教育学部附属中学校	普 通 学 級	12	160	476
	特別支援学級	3	8	19
合 計				1,226

● 国(地域)別外国人留学生数 (平成 21 年 5 月 1 日現在) (人)



● 外国人留学生受け入れ数の推移 (平成 11 年度～ 21 年度)



○学 部

学 部		募集人員	志願者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計
教 育 学 部		250	810	1,240	2,050	102	162	264
地域科学部		100	291	298	589	46	61	107
医 学 部	医学科	100	2,716	861	3,577	77	23	100
	看護学科	80	18	320	338	2	80	82
工 学 部		510	1,347	188	1,535	481	65	546
応用生物科学部	食品生命科学課程 生産環境科学課程	160	196	293	489	71	100	171
	獣医学課程	25	80	99	179	13	15	28
計		1,225	5,458	3,299	8,757	792	506	1,298

3年次編入者を除く。

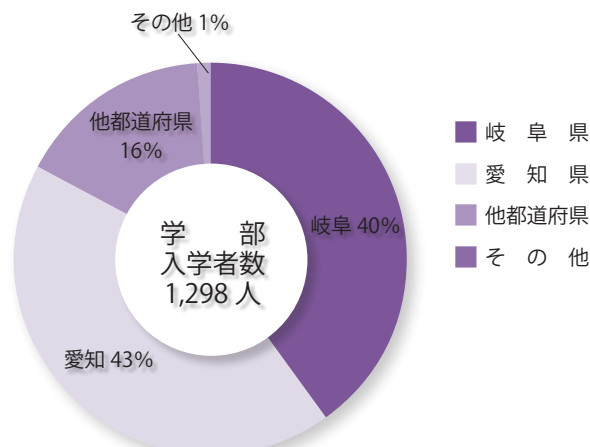
○大 学 院

大 学 院		募集人員	志願者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計
教育学研究科	教職大学院課程	20	16	12	28	13	8	21
	修士課程	49	50	55	105	21	28	49
地域科学研究科		20	18	11	29	10	8	18
医学系研究科	修 士 課 程	8	1	15	16	1	10	11
	博 士 課 程	47	30	7	37	24	6	30
	博士前期課程	11	12	2	14	11	1	12
	博士後期課程	6	3	1	4	3	1	4
工学研究科	博士前期課程	275	358	29	387	263	22	285
	博士後期課程	27	19	5	24	17	4	21
応用生物科学研究科		89	78	51	129	49	41	90
連合農学研究科		16	17	8	25	16	8	24
連合獣医学研究科		20	22	8	30	13	8	21
連合創薬医療情報研究科		6	5	1	6	5	1	6
計		594	629	205	834	446	146	592

○出身高校等の所在地別入学状況(学部)

学 部	岐 阜 県	愛 知 県	三 重 県	静 岡 県	富 山 県	福 井 県	東 京 都	神 奈 川 県	滋 賀 県	京 都 府	大 阪 府	兵 庫 県	他 都 道 府 県	* そ の 他	計
教育学部	157	72	6	2	4	4	1	1	6	1		2	8		264
地域科学部	58	44		2					2					1	107
医学部	79	47	4	2	4		6	1		2	3	5	27	2	182
工学部	174	315	8	12	2	6			10	1	3	1	14		546
応用生物科学部	54	86	3	10	2		2	1	1	1	8	3	28		199
計	522	564	21	28	12	10	9	3	19	5	14	11	77	3	1,298

*高等学校卒業程度認定試験，外国の学校。



学部卒業生

(人)

学 部 名		平成 20 年度	累 計
教 育 学 部		276	15,873
地域科学部		117	1,014
医 学 部		168	3,670
工 学 部	昼間コース	556	18,655
	夜間主コース	28	814
応用生物科学部*		220	11,329
計		1,365	51,355

*農学部卒業生を含む。

別科修了者

(人)

別 科	平成 20 年度	累 計
農 業 別 科 *	0	939

*平成 21 年 3 月 31 日廃止

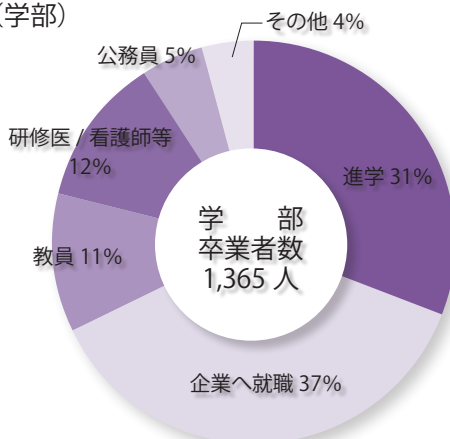
平成 20 年度卒業生進路状況

(平成 21 年 5 月 1 日現在) (人)

学 部 名		教育学部	地域科学部	医 学 部		工 学 部		応用生物科学部*1	計
				医学科	看護学科	昼 間 コース	夜間主 コース		
卒 業 者 数		276	117	77	91	556	28	220	1,365
産 業 別 就 職 者 数	進 学 者 数	38	9		2	277	7	88	421
	就 職 者 数	225	103		85	266	17	122	818
	社会人学生で現職に留まる者	1							1
	臨床研修医			76					76
	そ の 他	12	5	1	4	13	4	10	49
	農 業 , 林 業							11	11
	建 設 業	2	2			16	2		22
産 業 別 就 職 者 数	製 造 業	4	24			164	10	43	245
	電気・ガス・熱供給・水道業					6		2	8
	情報通信業	12	9			21	1	4	47
	運輸業、郵便業	1	4			5			10
	卸売業・小売業	9	5			7		7	28
	金融業・保険業	8	19			7	1	2	37
	不動産取引・賃貸・管理業		1					2	3
	学術研究、専門・技術サービス業	3	1			11	1	2	18
	宿泊業、飲食サービス業	3				1	1	1	6
	生活関連サービス業、娯楽業	4			1	1			6
	学 校 教 育	149	1		1	1		3	155
	その他の教育・学習支援業	4						2	6
	医療業・保健衛生				83	1		1	85
	社会保険・社会福祉・介護事業	3	1						4
	複合サービス事業	3	8			1		2	14
	その他のサービス業	2	11					17	30
	国 家 公 務		2			3		2	7
	地 方 公 務	17	12			21	1	18	69
	そ の 他	2	3					3	8
	計	226	103	0	85	266	17	122	819

*1 農学部卒業生を含む。

卒業後の進路状況 (学部)



学位授与者

(人)

学位の種類		平成 20 年度	累 計
博 士	医 学	課程博士	758
		論文博士	1,438
	再生医科学	課程博士	41
		論文博士	1
	工 学	課程博士	371
		論文博士	64
	農 学	課程博士	517
		論文博士	130
	獣 医 学	課程博士	287
		論文博士	91
計		133	3,698

(人)

学位の種類			平成 20 年度	累 計
修 士	教 育 学		75	793
	地 域 科 学		20	158
	再生医科学		17	99
	看 護 学		3	16
	工 学		294	5,150
	農 学		86	2,085
	計		495	8,301

平成 20 年度修了者進路状況

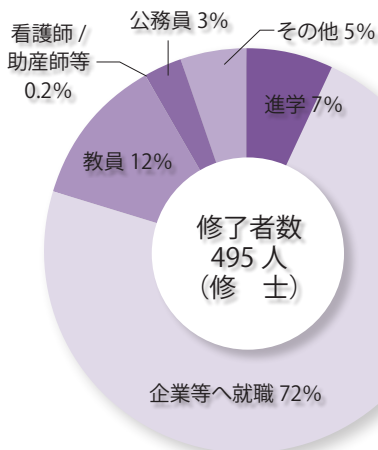
(平成 21 年 5 月 1 日現在) (人)

研究科名(課程)	教育学研究科	地域科学研究科	医学系研究科	医学系研究科	工学研究科	農学研究科	小計	医学(系)研究科	医学(系)研究科	工学研究科	連合農学研究科	連合獣医学研究科	小計	計
	修士課程	修士課程	博士前期課程	修士課程	博士前期課程	修士課程		博士後期課程	博士課程	博士後期課程	博士課程	博士課程		
修了者数*1	75	20	17	3	294	86	495	10	28	19	25	29	111	606
進学者数	2		1		11	23	37						0	37
就職者数	39	10	15	2	268	57	391	8	26	7	25	29	95	486
社会人学生で現職に留まる者	30	3			8		41			8			8	49
そ の 他	4	7	1	1	7	6	26	2	2	4			8	34

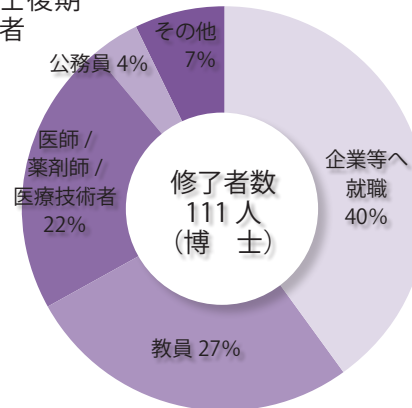
産 業 別 就 職 者 数	農業、林業					3	3				1		1	4
	建設業		1	1		10	12			1			1	13
	製造業		3	9		217	33	262	3	1	7		3	276
	電気・ガス・熱供給・水道業					2	2	4					0	4
	情報通信業		1	4		17	1	23	2		1		3	26
	運輸業、郵便業					7	7			1			1	8
	卸売業・小売業					1	3	4					0	4
	金融業・保険業		1			1	2						0	2
	不動産取引・賃貸・管理業						0						0	0
	学術研究、専門・技術サービス業		1			7	2	10			2	8	10	20
	宿泊業、飲食サービス業					1	1						0	1
	生活関連サービス業、娯楽業		1				1						0	1
	学校教育	56	2		1	2	61		3	3	13	11	30	91
	その他の教育・学習支援業					1	1			1			1	2
	医療業・保健衛生	5	1	1	1	2	10	3	21				24	34
	社会保険・社会福祉・介護事業	2				1	3						0	3
	複合サービス事業		1			4	5				1		1	6
	その他のサービス業	1				1	2	4	1				1	5
	国家公務					1	1	2					0	2
	地方公務	5				8	1	14		1	1	3	5	19
	そ の 他		1			2	3				7	4	11	14
計		69	13	15	2	276	57	432	8	26	15	25	29	535

* 1 修了者数には単位修得退学者を含む。

修士・博士前期課程修了者



博士・博士後期課程修了者



福利厚生施設等

施設名	食堂・喫茶	売店	課外活動	就職支援
大学会館	第1食堂(450席) 自動販売機コーナー 共用談話室 ルポ(ラーメン・丼 専門店)	売店、書店 現金自動預金支払機	大ホール 音楽鑑賞室 第1～第6集会室 第9～第11集会室(9,11和室)	学生ラウンジ 就職活動支援室
第2食堂	ホール(420席) 喫茶室(100席) 自動販売機コーナー(35席)	売店、書店 生協紹介コーナー		
医学部 教育・福利棟	医学部食堂(132席)			

大学会館

学生寮

施設名	室数	収容定員
黒野寮 (岐阜市柳戸14番)	200(男性)	200
	75(女性)	75



黒野寮

体育施設・課外活動施設

施設名	施設の内容	施設名	施設の内容
屋内体育施設	体育館 第1体育館, 第2体育館 更衣室(ロッカー・シャワー), 器具庫 フィットネスルーム	体育系サークル共用施設	共用室10室(1室2サークル), 会議室1室
	武道場 (剣道場, 柔道場)	文化系サークル共用施設	共用室10室(1室和室) (1室2～4サークル)
	弓道場	合宿所	研修室(宿泊室と兼用)4室, 浴室, 補食室
屋外体育施設	陸上競技場 400m8コース	課外活動施設	学外合宿研究施設 宿泊室30室, ホール 談話室2室 研修医宿泊室6室
	野球場		自動車車庫
	テニスコート 18面(クレイ12面, 全天候6面)		グライダー格納庫
	バレーボールコート 4面(全天候)		きゅう舎・馬場
	ハンドボールコート 2面(クレイ1面, 全天候1面)		アーチェリー場
	バスケットボールコート 3面(全天候)		
	サッカー場 1面		
	ラグビー場 1面		
	水泳プール 1基(50m8コース)		

アーチェリー場



岐阜大学は、「学び、究め、貢献する岐阜大学」を理念とし、地域社会からの信頼と期待に応えるため、研究を中心とした産官学の連携を推進する「産官学融合本部」と、教育を中心とした社会連携を推進する「地域連携室」を設置している。双方が協働し、県や地域のパートナーとして社会連携を推進している。

◎ 地方自治体等との協定締結

本学は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、地方自治体等と包括的連携・協力に関する協定を締結して、多様な分野で連携事業を積極的に進めている。

○ 締結団体及び主な協定内容

岐阜県、大垣市、各務原市及び各務原商工会議所、羽島市、関市、美濃市、岐阜市、高山市（包括連携協定）
岐阜市（岐阜薬科大学との連携）
多治見市（大学講座開放事業）
大学共同利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研究所（研究及び人材養成）

◎ 地域連携事業の推進

本学は、地域社会の活性化に資することを目的に、平成 19 年度から政策経費「岐阜大学活性化経費（地域連携）」を設け、地域連携事業を推進している。平成 21 年度からは、大学の構成員である学生の力を地域連携活動に活かすための支援として、「岐阜大学活性化経費（地域連携：学生）」を新設した。

- 岐阜大学活性化経費（地域連携：一般） 平成 21 年度：10 事業
- 岐阜大学活性化経費（地域連携：NPO） 平成 21 年度：3 事業
- 岐阜大学活性化経費（地域連携：学生） 平成 21 年度：5 事業

◎ 公開講座

本学は、教育研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的に、各学部及びセンターが様々な内容の公開講座を実施している。また、小・中・高校生を対象とした講座では、公開講座のほかに、ものづくり講座などの体験講座を開催している。平成 21 年度の開講数（6 月現在決定分）は次のとおりである。

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ○ 一般社会人向けの生涯学習講座 | 13 講座 |
| ○ 専門職・指導者向けの専門講座 | 3 講座 |
| ○ 小・中・高校生を対象とした公開講座 / 体験講座 | 10 講座 |
| ○ その他（応用生物科学部附属岐阜フィールド科学センター） | 1 講座 |

◎ 出前講義

本学は、高校生に様々な研究分野への理解を深め、その魅力を分かりやすく伝えるため、教員が高等学校に出向く「出前講義」を実施している。高等学校の授業とは異なる内容や雰囲気の講義を受けることで、大学そのものに興味をもってもらうことを目的としている。

平成 21 年度の開設数は、人文科学 20、社会科学 21、理学 28、応用科学 101、医学・福祉 15、総合 9、計 194 講座である。

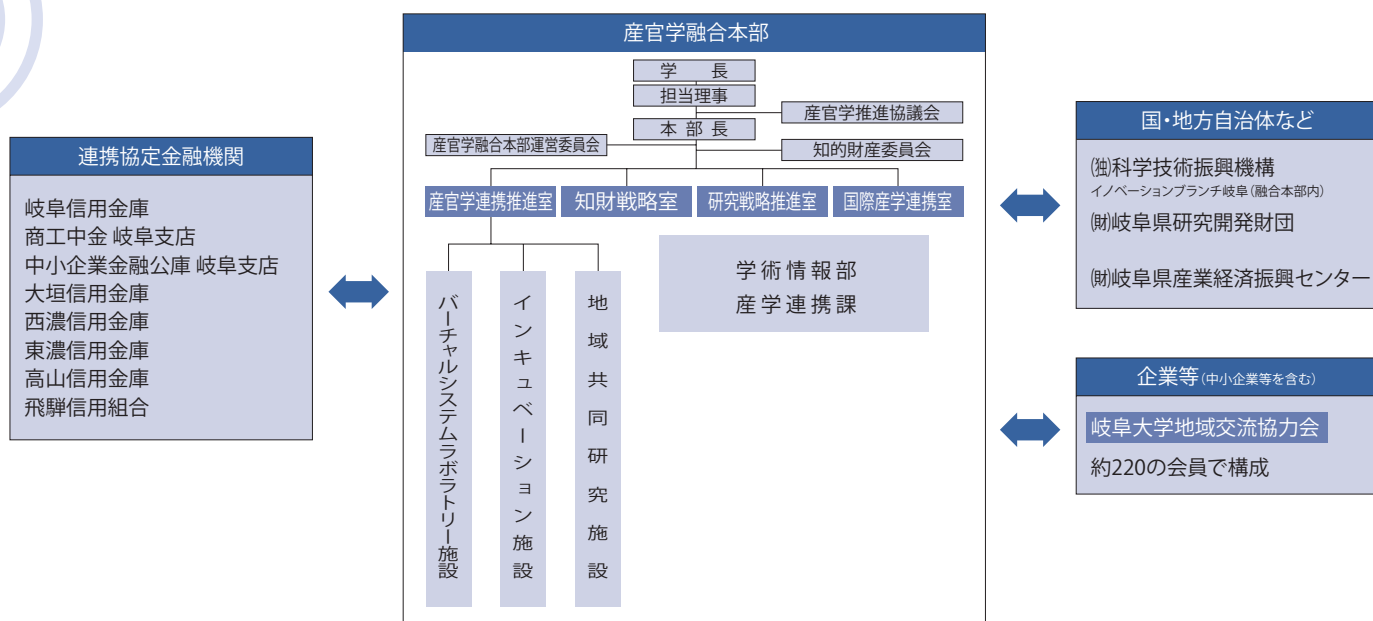
◎ 岐阜シンポジウム

本学は、地域の知の拠点として、地球規模あるいは社会全体が抱える課題である環境、バイオ、情報、教育などの 21 世紀の重要テーマについて、岐阜大学の研究成果とともに最新の情報を社会に発信するため、平成 13 年度から「岐阜シンポジウム」を年 2 回開催している。

- 平成 19 年度 第 12 回「岐阜学をもとめて part II」
第 13 回「地方国立大学の挑戦」
- 平成 20 年度 第 14 回「地球温暖化と身近な森林の役割」
第 15 回「暮らしの安全と地域再生への挑戦 —「みち」のメンテナンス技術—」
- 平成 21 年度 第 16 回「微生物 — 21 世紀の社会と地球を支える立役者—」

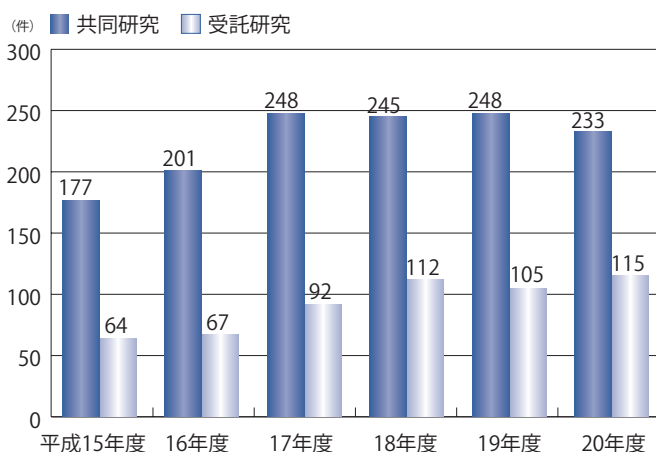
産官学融合本部

産官学連携

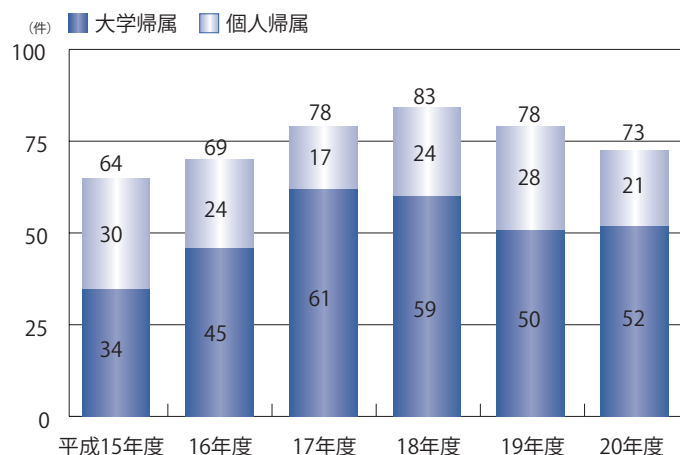


共同研究・受託研究および発明届の件数の推移

共同研究・受託研究

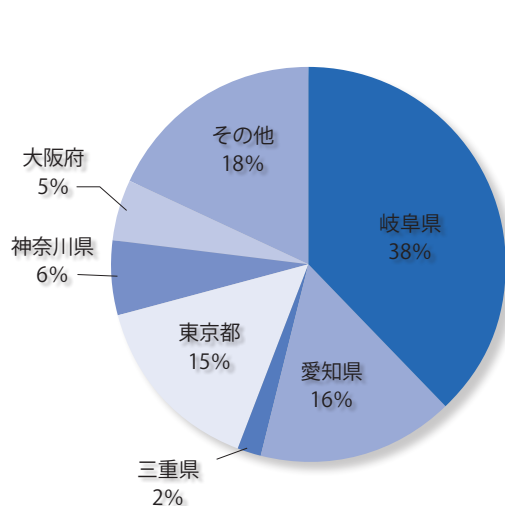


発明届

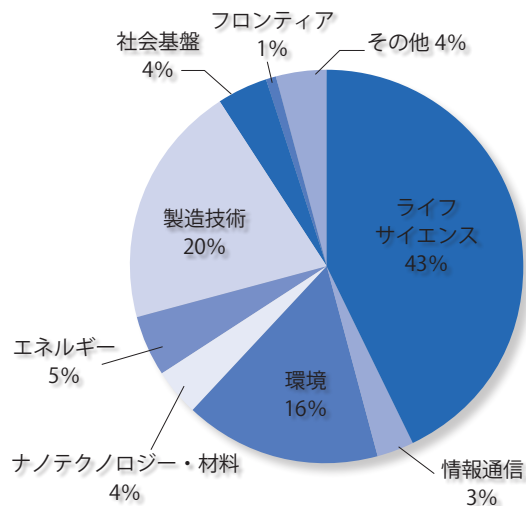


共同研究実績

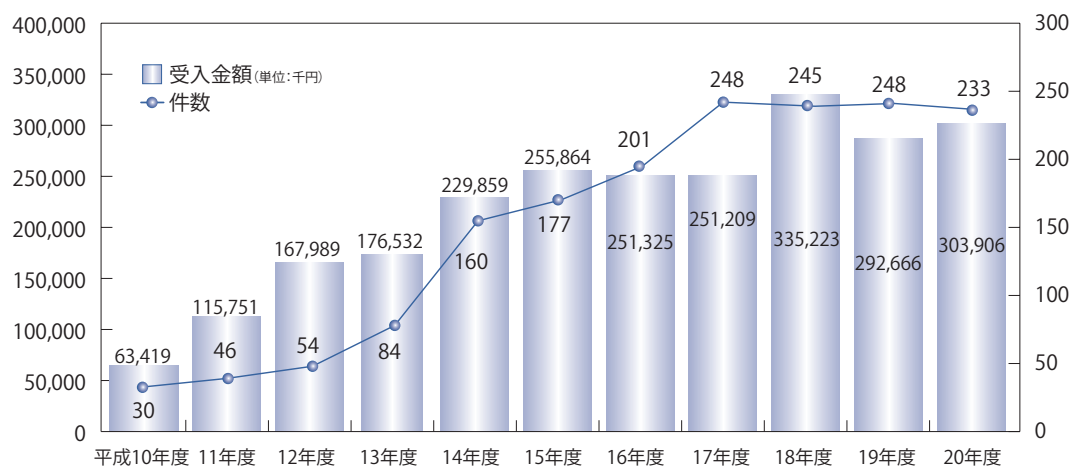
相手先機関所在地 (平成20年度)



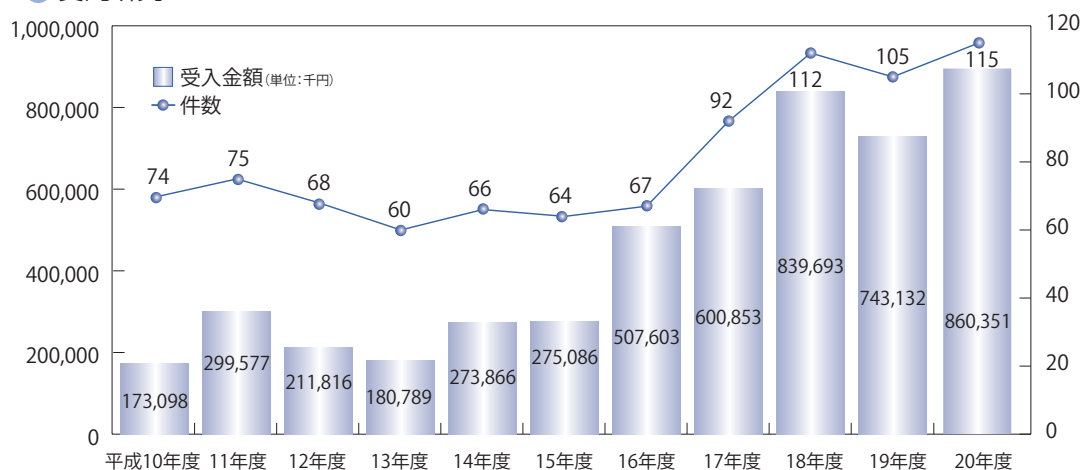
実施分野 (平成20年度)



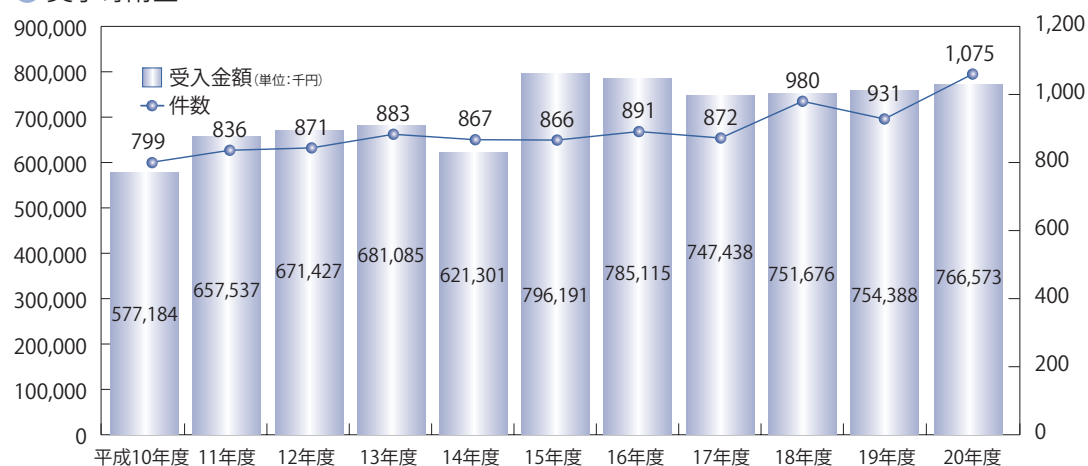
● 民間等との共同研究



● 受託研究

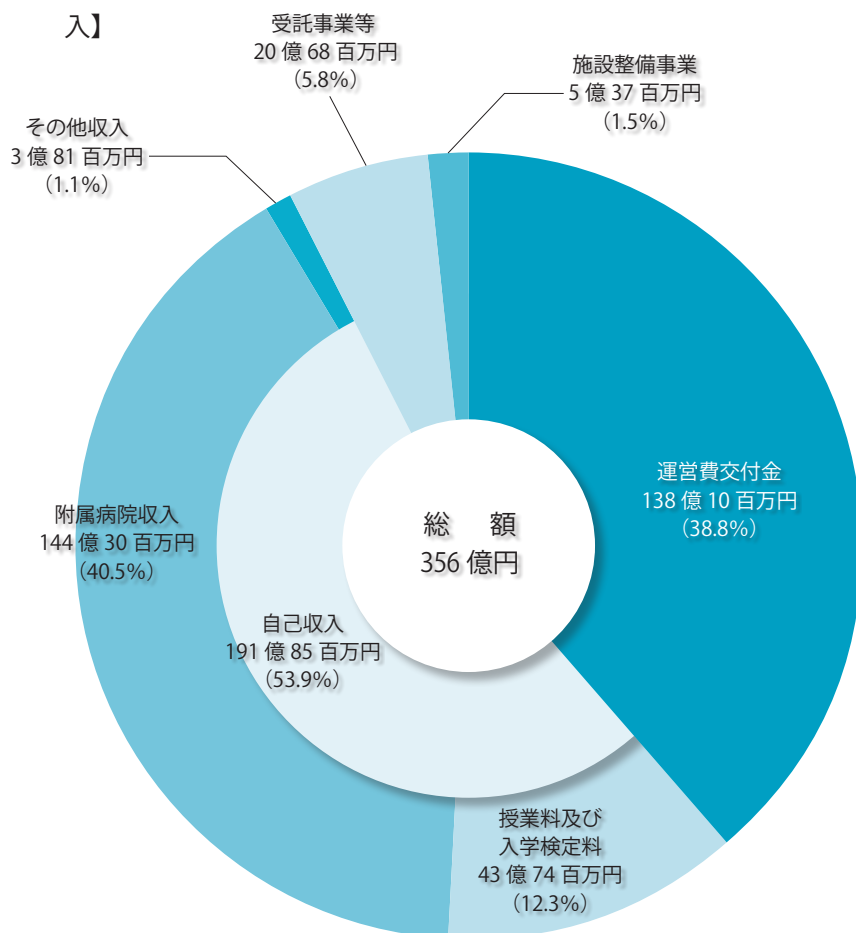


● 奨学寄附金

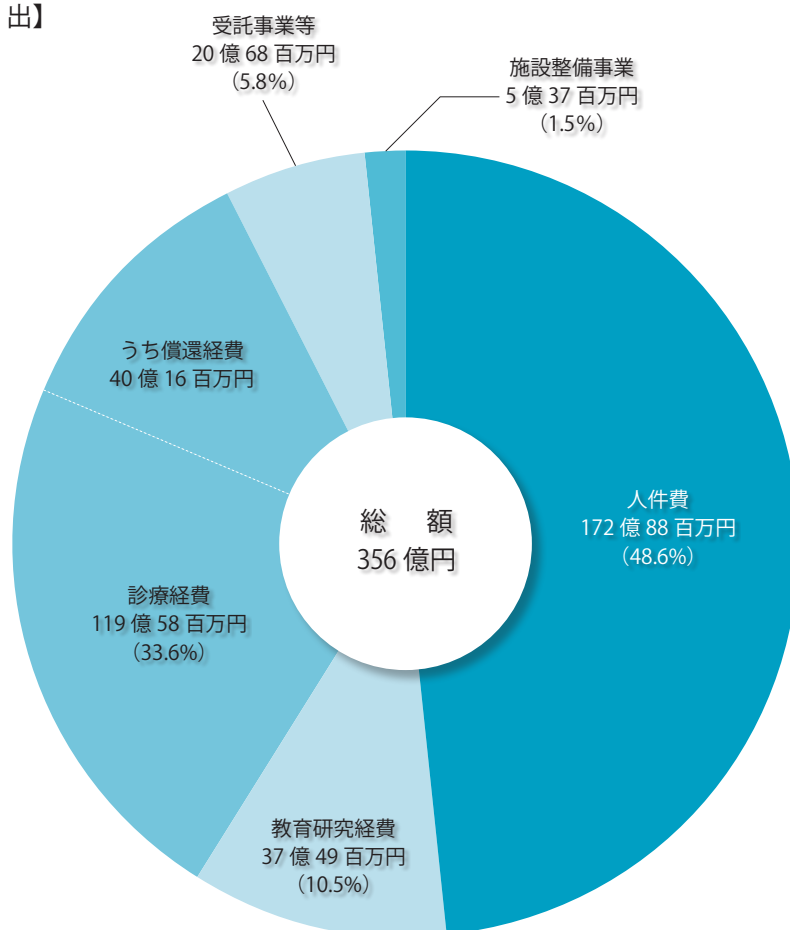


● 平成 21 年度岐阜大学の予算

【収 入】



【支 出】



● 科学研究費補助金(平成 20 年度実績)

研 究 種 目	採 択 件 数	直 接 経 費 (千円)	間 接 経 費 (千円)	部局別件数																	
				教育学部	大学院教育学研究科	教育学部附属学校	地域科学部	医学部	大学院医学系研究科	医学部附属病院	工学部	大学院工学研究科	応用生物科学部	大学院連合農学研究科	大学院連合獣医学研究科	流域圏科学研究センター	産官学融合本部	生命科学総合研究支援センター	総合情報メディアセンター	留学生センター	人獣感染防御研究センター
特定領域研究	15	60,623	0						4		9		1							1	
特別研究促進費	1	3,500	0										1								
基盤研究(S)	1	12,300	3,690										1								
基盤研究(A)	3	20,200	6,060						1		1		1								
基盤研究(B)	32	143,825	43,147	1			1		7		10	1	8			2			2		
基盤研究(C)	134	163,600	49,080	12	2		7	6	31	12	40	4	16	1				1	1	1	
萌芽研究	21	23,300	0	2				3	6		4		2		1	1		1		1	
若手研究(A)	3	10,200	3,060		1				1		1										
若手研究(B)	51	66,700	20,010	6			2	5	13	5	8	1	5			2	1	1		2	
若手研究(スタートアップ)	8	9,580	2,874	1				1		3	1		1							1	
研究成果公開促進費	1	1,800	0	1																	
奨励研究	6	2,800	0			3				3											
特別研究員奨励費	13	10,700	0	1					3				2	2	5						
合 計	289	529,128	127,921	24	3	3	10	15	66	23	74	6	38	3	6	5	1	3	3	5	

(注) 千円未満切り捨て

● 共同研究・受託研究(平成 20 年度実績)

(単位: 千円)

部 局	共同研究		受託研究	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
教育学部	7	2,575	3	3,100
地域科学部	0	0	1	2,770
大学院医学研究科・医学部	41	65,385	14	185,416
医学部附属病院	6	3,699	11	19,666
工学部	110	117,379	44	486,536
応用生物科学部	48	52,280	28	58,671
連合農学研究科	1	50,240	0	0
連合創薬医療情報研究科	0	0	2	12,440
産官学融合本部	0	0	1	2,958
流域圏科学研究センター	8	5,573	5	6,647
生命科学総合研究支援センター	5	1,155	3	6,000
総合情報メディアセンター	7	5,620	0	0
人獣感染防御研究センター	0	0	3	76,147
合 計	233	303,906	115	860,351

● 奨学寄付金(平成 20 年度実績)

(単位: 千円)

部 局 等	奨学寄付金	
	受入件数	受入金額
事務局(国際交流含む)	26	16,440
教育学部	15	9,400
教育学部附属小学校	2	13,200
教育学部附属中学校	2	7,770
地域科学部	7	3,900
医学系研究科・医学部	375	372,771
医学部附属病院	127	126,093
工学部	113	120,137
応用生物科学部	374	75,823
連合農学研究科	6	750
連合獣医学研究科	1	1,000
流域圏科学研究センター	12	8,787
生命科学総合研究支援センター	12	9,150
総合情報メディアセンター	2	1,000
保健管理センター	1	350
合 計	1,075	766,573

(注) 千円未満は切り捨てとし、医学部には寄附講座分 49,000 千円、工学部には寄附講座分 30,000 千円を含む

● 学術交流協定締結大学一覧

大学間協定(15 カ国 37 大学)

(平成 21 年 6 月 1 日現在)

大 学 名	国 名	協定締結日
カンピーナス大学	ブラジル	1984.8.27
サンディエゴ州立大学	米 国	1985.5.7
浙江大学	中 国	1986.4.21
広西大学	中 国	1986.4.24
電子科技大学	中 国	1986.7.21
江南大学	中 国	1986.9.3
中国医科大学	中 国	1987.8.15
ルンド大学	スウェーデン	1987.9.12
ノーザンケンタッキー大学	米 国	1990.9.26
ソウル産業大学	韓 国	1992.3.19
グリフィス大学	オーストラリア	1995.3.3
ユタ大学	米 国	1997.5.28
ユタ州立大学	米 国	1997.5.29
ハノイ工科大学	ベトナム	1998.6.26
ウェストバージニア大学	米 国	1998.12.16
カセサート大学	タ イ	1999.8.5
アバティダンディ大学	英 国	2000.6.28
内蒙古農業大学	中 国	2000.8.8
シドニー工科大学	オーストラリア	2000.8.14
バンノン大学	ハンガリー	2001.3.2
アンダラス大学	インドネシア	2001.4.23
バングラデシュ農業大学	バングラデシュ	2001.8.23
エルフルト大学	ド イ ツ	2002.12.4
吉林大学	中 国	2003.5.20
チェンマイ大学	タ イ	2003.8.4
ダッカ大学	バングラデシュ	2004.6.17
モンクット王トンプリ工科大学	タ イ	2005.1.10
華僑大学	中 国	2005.3.29
同済大学	中 国	2006.3.16
ランボン大学	インドネシア	2006.4.25
ポートランド州立大学	米 国	2006.6.19
内蒙古大学	中 国	2007.2.6
木浦大学	韓 国	2008.2.26
シバジ大学	イ ン ド	2008.3.18
バイロイト大学	ド イ ツ	2008.8.22
西南交通大学	中 国	2008.9.5
ベンハー大学	エジプト	2009.3.18

部局間協定

大 学 名	国 名	協定締結日	協定部局
チュラロンコン大学理学部	タ イ	1994.3.15	応用生物科学部
コンケン大学農学部	タ イ	2000.3.27	応用生物科学部
コンケン大学学部間共同開発研究所	タ イ	2000.3.27	応用生物科学部
浙江大学医学院	中 国	2000.12.4	医 学 部
コンケン大学医学部	タ イ	2000.12.18	医 学 部
全南大学校工科大学	韓 国	2002.2.6	工 学 部
シドニー大学文学部	オーストラリア	2004.3.2	教 育 学 部
高麗大学環境リモートセンシングGIS研究センター	韓 国	2008.7.30	流域圏科学研究センター
中国科学院水利部水土保持研究所	中 国	2008.8.12	社会資本アセットマネジメント技術研究センター
国立獣医科学検疫院 獣医科学研究所	韓 国	2008.11.4	応用生物科学部
コロラド州立大学	米 国	2008.11.18	医 学 部
ガジャマタ大学 畜産学部	インドネシア	2008.12.5	応用生物科学部
忠北大学医学部	韓 国	2009.4.17	医 学 部

● 平成 20 年度外国人研究者受入数及び来訪者数

外国人研究者	42 人
外国人来訪者	146 人

● 平成 20 年度海外渡航者数

出 張	482 人
研 修	70 人

● 交換留学

(人)

国名	大学名	派遣年度				受入年度			
		17	18	19	20	17	18	19	20
バングラデシュ	ダッカ大学					1	1	1	3
中国	広西大学					1	2	2	2
	吉林大学					1	2		3
	電子科技大学					1	2	2	2
	同済大学		1						
	内蒙古農業大学								2
韓国	ソウル産業大学	1	1			3	3	3	3
タイ	カセサート大学					1	1		1
	チェンマイ大学					1	1	1	1
	チュロンコン大学*	1							
	モンクット王トンプリ工科大学						1	1	
オーストラリア	グリフィス大学					1		3	6
	シドニー工科大学	3	1	3	1	2	2	2	2
ドイツ	エルフルト大学						1		
スウェーデン	ルンド大学		1			2	2	2	2
英国	アバティダンディ大学					2	2		2
米国	サンディエゴ州立大学	1	1			2		1	2
	ノーザンケンタッキー大学	1	2	2	1	1			
	ユタ大学							1	
	ユタ州立大学	2							
	ウエストバージニア大学	1		1	2			1	
ブラジル	カンピーナス大学	1				1	1		
計		11	7	6	4	20	21	20	31

※部局間協定大学



● 夏期短期留学(サマースクール)

(人)

国名	大学名	派遣年度				受入年度			
		17	18	19	20	17	18	19	20
韓国	ソウル産業大学				10	5	5	6	5
	木浦大学								3
オーストラリア	グリフィス大学	11	10	15	11				
スウェーデン	ルンド大学					23	13	15	15
米国	ユタ州立大学								1
	ポートランド州立大学		14						
計		11	24	15	21	28	18	21	24



● 国際交流会館

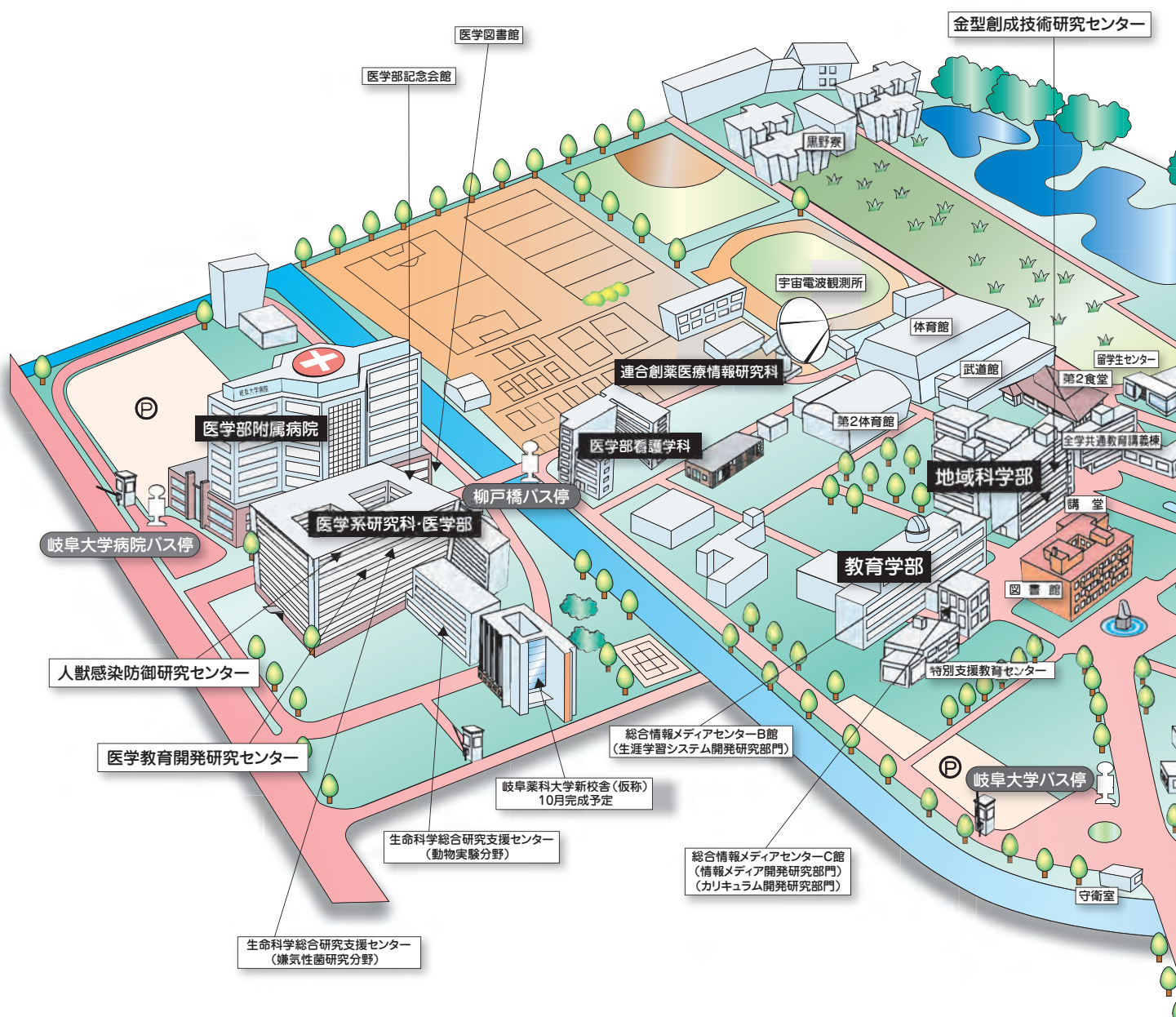
施設名	施設の概要		
	宿泊室		その他
国際交流会館 (岐阜市柳戸1番1)	A棟	単身室 31	会議室・研修室, 談話室
		夫婦室 2	
		家族室 3	
	B棟	単身室 38	多目的ホール, 和室
		夫婦室 12	
		家族室 4	

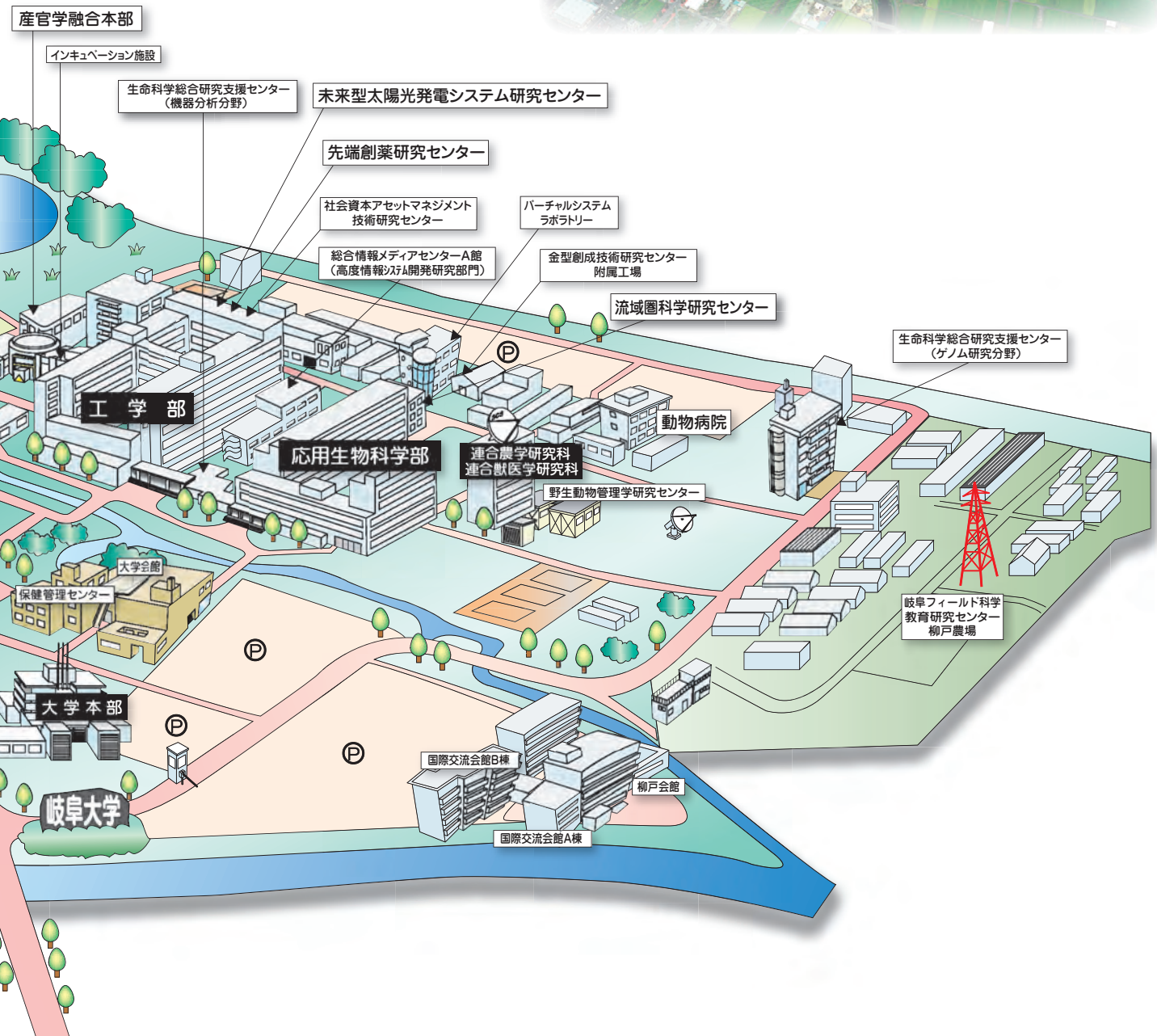


国際交流会館 A 棟

建物配置図

● 柳戸地区建物等





地 区	区 分	土 地 (m ²)	建 物 (m ²)
柳 戸 地 区	本 部 棟	520,826	4,000
	教 育 学 部		18,726
	地域科学部		3,640
	地域科学部・共通教育講義等		13,433
	医学部(看護学科)		7,197
	工 学 部		47,972
	応用生物科学部		27,524
	大学院連合農学研究科・連合獣医学研究科		2,301
	動 物 病 院		2,011
	図書館(講堂含む)		7,192
	産官学融合センター		3,903
	流域圏科学研究センター		1,112
	生命科学総合研究支援センター		2,843
	総合情報メディアセンター		2,311
	留学生センター		336
	国際交流会館		3,387
	大学会館, 第二食堂, 柳戸会館		6,465
	体育・課外活動施設		6,301
	黒 野 寮		5,045
	保 育 園		249
	排水処理施設, 中央機械室, 中継ポンプ室, 特高受変電室外		1,847
	医学部・同附属病院	124,337	111,519
	柳戸地区合計	645,163	279,314

長 良 地 区	教育学部附属小・中学校(圃場)	1,821	1,304
	学外合宿研修施設	3,263	
	教育学部(地震観測所跡地・6月末契約解除)	(148)	
司 町 地 区	旧医学部・同附属病院跡地	30,860	
	司町5番地	239	
加 納 地 区	教育学部附属小・中学校	30,608	13,472
美濃加茂地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	(19)	1,602
	美濃加茂農場	95,832	
萩原町地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	(2,460)	1,103
	位山演習林	5,538,803	
高 山 地 区	流域圏科学研究センター高山試験地	(159,266)	750
そ の 他	職 員 宿 舎	18,442	8,813

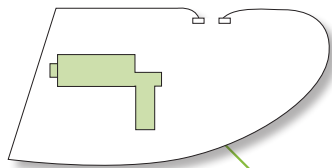
合 計 () 内の数は借用地で, 外数である		(161,893) 6,365,031	306,358
-------------------------	--	------------------------	---------

学外合宿研修施設(岐阜市長良竜東町)

大学から5km 車で15分



学外合宿研修施設



流域圏科学研究センター
高山試験地(高山市岩井町)



高山試験地



流域圏科学
研究センター

実験実習地

富山県

長野県

福井県

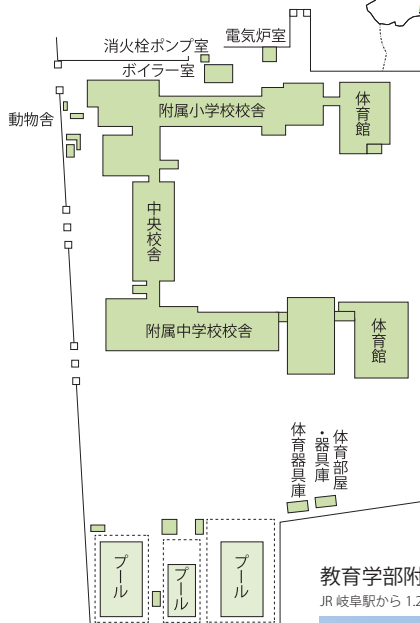
岐阜大学
(岐阜市柳戸1番1)

JR 岐阜駅から7km 車で20分
新幹線岐阜羽島駅から20km 車で40分

滋賀県

愛知県

三重県



教育学部附属学校(岐阜市加納大手町)

JR 岐阜駅から1.2km



教育学部附属小学校



教育学部附属中学校

応用生物科学部附属岐阜フィールド
科学教育研究センター美濃加茂農場(美濃加茂市牧野)

JR 古井駅から6km



美濃加茂農場



実験実習地

管理棟

応用生物科学部附属岐阜フィールド
科学教育研究センター位山演習林
(下呂市萩原町)

JR 上呂駅から10km



演習林建物遠景

部局・施設等		郵便番号	住 所	電 話 番 号	F A X 番号
柳 戸 地 区	大 学 本 部	501-1193	岐阜市柳戸 1 番 1	〈058〉230-1111 (代表)	〈058〉293-2021
	教育学部 / 教育学研究科			293-2203	〈058〉293-2207
	・附属特別支援教育センター			293-2350	293-2355
	地域科学部 / 地域科学研究科			293-3002	293-3008
	工学部 / 工学研究科			293-2365	293-2376
	応用生物科学部 / 応用生物科学研究科			293-2835	293-2840
	・附属岐阜フィールド科学教育研究センター			293-2972	293-2977
	・附属動物病院			293-2962	293-2964
	連合農学研究科			293-2984	293-2992
	連合獣医学研究科			293-2987	293-2992
	連合創薬医療情報研究科			293-3272	
	図 書 館			293-2184	293-2194
	産官学融合本部			293-2025	293-2022
	教養教育推進センター			293-2178	293-3020
	流域圏科学研究センター			293-2061	293-2062
	生命科学総合研究支援センター			293-3171	293-3172
	総合情報メディアセンター			293-2041	293-2044
	留学生センター			293-2138	293-2143
	保健管理センター			293-2174	293-2177
	先端創薬研究センター			293-3345	293-3345
	金型創成技術研究センター	293-2496	293-2496		
	未来型太陽光発電システム研究センター	293-2685	293-2685		
	社会資本アセットマネジメント技術研究センター	293-2499	293-2499		
	医学部 / 医学系研究科	501-1194		〈058〉230-6000 (代表)	〈058〉230-6060
医学部附属病院	230-6008			230-6020	
医学教育開発研究センター	230-6470			230-6468	
人獣感染防御研究センター	230-6145			230-6144	
加 納	教育学部附属小学校	500-8482	岐阜市加納大手町 74	〈058〉271-3545	〈058〉271-1816
	教育学部附属中学校	〃	〃	271-3507	272-3665
美濃	応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	505-0016	美濃加茂市牧野 1918 の 1	〈0574〉 25-2807	〈0574〉 25-2807
萩原	同センター 位山演習林	509-2501	下呂市萩原町山之口	〈0576〉 54-1611	〈0576〉 54-1477
高山	流域圏科学研究センター 高山試験地	506-0815	高山市岩井町 919-47	〈0577〉 31-1005	〈0577〉 31-1016

● 岐阜大学へのアクセス

バス・タクシー

【JR 岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】

- ・岐阜大学まで約 7 km, バスで約 30 分, タクシーで約 20 分

鉄道

【JR 名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】

- ・JR 岐阜駅まで, 東海道本線(新快速)で約 18 分
- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄名古屋本線(特急)で約 25 分

【岐阜羽島駅(新幹線)から】

- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄羽島線(急行)で約 24 分

【中部国際空港から】

- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄(快速特急)で約 55 分

自家用車

【名神高速】

- ・岐阜羽島 IC から岐阜環状線経由で, 約 40 分(約 20km)
- ・一宮 IC から国道 22 号を北進し, 岐阜市街経由で, 約 50 分(約 25km)

【東海北陸自動車道】

- ・岐阜各務原 IC から国道 21 号を西進し, 岐阜環状線経由で 40 分(約 20km)

● バスのりば拡大図 (JR岐阜駅・名鉄岐阜駅)





● バスのりば案内

JR 岐阜駅北口・バスターミナルのりば

のりば	路線名	系統 No.	行先	所要時間
JR 岐阜 -3	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約 30 分
JR 岐阜 -3	岐阜大学・病院線	C60	岐阜大学	直行, 快速
JR 岐阜 -3	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約 35 分

名鉄岐阜のりば

のりば	路線名	系統 No.	行先	所要時間
名鉄岐阜 -5	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約 30 分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C60	岐阜大学	直行, 快速
名鉄岐阜 -4	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約 35 分

● バスはすべて「岐阜大学」に停車。バス系統 C は、忠節橋経由
 ● 直行便・快速便は、朝のみ運行 学休日、土・日曜日運休



岐阜大学概要 2009

【編集】岐阜大学総務部総務課

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel.058-230-1111 (代表) 058-293-2009

Fax.058-293-2021

<http://www.gifu-u.ac.jp/>

